京城日報

汽車時間表（七月十日改正）

[illegible]

李王世子殿下の御婚儀
女王は梨本宮第一王女殿下
愈々御治定、勅許相成る

李王世子殿下には麻布鳥居坂御用邸に專ら文武兩道の御勉學中なるが既に幼年學校も御卒業遊ばされ士官學校に進ませられ御年も廿歳の御成年に達せられたる事とて豫て故伊藤公其他我貴族中にも熱心斡旋し居たる我皇族との御縁組に付各方面の儀愈々順調に捗り茲に芽出度御婚儀を整はせらるゝ事となれり竹園生の宮柱御茂きが中に分けて目出度き日鮮永久の契を固させ給ふ女王殿下は其筋にても懇ろに御詮議を重ねたる上梨本宮守正王殿下第一の王女に亘らせらるゝ方子殿下（明治三十四年十一月四日御誕生）に御決定相成豫て委細奏上勅許を仰ぎ奉りたるに一日寺内總督迄勅許傳達ありたれば今は李王家の御受を待ちて茲に御慶事御發表遊ばさるゝ筈なり（東京至急電報）

○支那國會開會式

中華民國々會は一日午前正式に開會せられ上下兩院議員四百名參列せり開會式は午前十時擧行せられ大總統黎元洪氏はフロックコート姿にて滿院喝采裡に議長席の稍後方席に著けり上院議長は議事を開始し兩院議員歡迎の祝辭を述べ次て大總統は同意味の簡單なる式辭あり次いで一同起立議席指後の中華民國々旗を參拜し終りて黎大總統は憲法を遵奉するの決意を聲明して宣誓を爲したり（北京特電）

○プルシロ軍大に捷つ

露都來電によれば露のプルシロ軍は二十八日攻勢に轉じ猛烈なる突擊の後敵の前線を突破し砲三十八門及び多數の軍需品を鹵獲し獨兵四千を捕虜とせり獨軍は露軍の猛然たる攻擊を支持する能はずして退却を餘儀なくせられゴウエル附近に主力を集中しつゝあり（東京電報）

▲露軍の決定的大捷 プルシロ軍の大捷はサハロフ軍が敵の機先を制したる攻擊前進と共に露獨戰線に於ける決定的大捷を得たるものにして從來幾多の戰闘中最も重大なる價値を有するものなり獨軍は敗兵をコヴエル附近に收容し此處に踏み止まらんとするものゝ如し（東京電報）

○西部獨軍總退却か

巴里にて一般の信ずる所によればソンム方面に於ける獨軍は英佛軍の充實せる軍備と猛烈果敢なる攻擊とに堪ゆる能はず總退却をなして新陣地に據るの止むなきに至るべしと（東京電報）

○優勢なる英佛軍の驀進

英軍はソンム河に向け四哩前進して獨軍の防禦線を突破し佛軍も亦ヘム及びモーレパス兩地を占領して英佛兩軍優勢を維持しつゝ驀進中也（北京特電）

○黒川檢事長

大邱覆審法院黒川檢事長は二日朝の聯絡船にて釜山著同十時三十分歸任せり（釜山特電）

○總督府豫算

大正六年度朝鮮總督府豫算は目下の所各部局の分殆んど度支部に出揃ひしを以て司計課にては八月三十一日迄に內務省へ廻附の豫定にて頻に其の調定を急ぎつゝあるが大體に於て本年起されし新稅並に自然增收等により歲入に於て相當增加すべきも一方財政獨立期の切迫に伴ひ國庫よりの補給は明年度に於て五百萬圓に減ぜらるゝ等の爲め依然として各項目に亙り緊縮を免れず査定の結果新事業計劃は必要欠ぐ可からざるものゝ外繰延べの止むなきに至るべし尚ほ京城下水補助並に朝鮮神社造營費等は多分若干額の計上を見るべきも內地新聞に散見しつゝある咸鏡線延長新工費の要求は之れあらず右說の誤傳されしは既定計劃による咸鏡線工事の明年度年額割に因るならん

○酒稅施行規則

酒稅令に伴ふ施行規則は豫て總督府度支部內に於て編成中なりしが二日を以て成案を見たり、同案は全文八十三條より成り直ちに參事官室に廻付審査を求め總督の決裁を經て發布の筈にて其の施行期は酒稅令同樣九月一日なること勿論なるのみならず既に制令發布の今日とて一日も早く周悉せしむる必要あるより當局にても出來得る限り審査を急ぎ居れるを以て不日發布を見るに至る可し

○酒稅施行打合

總督府度支部にては各道稅務主任並に京城、仁川、釜山、新義州各府の稅務主任を召集し七日より十日まで三日間總督府第二會議室に於て酒稅令施行に關する打合會を開くことゝなり議長は荒井長官之れを整理すべく藤川稅務課長以下度支部內高等官亦出席の筈なり

李王世子殿下と梨本宮女王殿下

二日夕刊

定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社

○古蹟調査委員

朝鮮古蹟調査委員は二日附を以て左の如く任命されたり

朝鮮總督府事務官 小田省吾
朝鮮總督府技師 中野有光
朝鮮總督府中樞院參議 劉猛
同 柳正秀
同 具義書

○地査委員會

高等土地調査委員會は二日午前十一時より總督府第一會議室に開催、山縣委員長以下各委員出席の上土地査定不服申請に對する件に就き審議の上正午散會せり

○商議聯合會出席

全國商業會議所聯合會に於ける經濟合議の結果により戰後の取引問題に對し協議を遂ぐる必要ありとし來る十日東京商業會議所に於て臨時に全國商業會議所聯合會を開會することゝなり京城商業會議所に對しても出席方希望し來りたるが同會議所よりは目下東京滯在中なる西村副會頭出席すべしと

○神職試驗委員

社司社掌任用規則の發布に基き朝鮮に於て社司社掌たらむとするものゝ爲め其の試驗を施行することゝなり二日附を以て左の如く其の試驗委員の任命を見たり

社司社掌試驗委員長を命ず 朝鮮總督府參事官 秋山雅之介
社司社掌試驗委員を命ず 朝鮮總督府事務官 久芳直介
同 山口貞昌
同 小田省吾
同 澤田豐丈
社司社掌試驗書記を命ず 朝鮮總督府屬 曾我章四郎
同 渡邊彰

○李王太王訪問

李王同妃兩殿下は既記の如く二日午前十時三十分昌德宮御出門、德壽宮に李太王殿下を御訪問暑中御見舞の御挨拶其の他の御物語ありて午餐を共にせられ午後三時御歸還相成りたり

○米宗教家入京

米國加奈陀基督教青年會聯合委員ジョーヂ、エー、ワーバートン氏は青年會狀況視察の爲め一日朝南大門驛著汽車にて內地より入京同日午前十一時總督府に山縣政務總監、小松書記官長等を訪問入京の挨拶を爲し二日は昌德宮、博物館、中央試驗所等を視察せり、氏は不日退京支那に赴く筈なり

○立花中將北行

第十九師團長立花陸軍中將は宮地主計、菊池副官、山崎參謀其他軍醫、經理部各一名宛を隨へ隨時檢閲の爲め二日午前九時十分南大門驛發急行にて北行せり同日午後八時十三分新義州著、三日は新義州部隊の檢閲を爲し同日午後新義州を出發し義州に到り四日義州部隊檢閲、五日は義州新義州兩部隊對抗演習を閲し同日新義州に歸來し六日午前八時三十分新義州發、同日午後一時二十七分平壤著、七日八日兩日平壤部隊檢閲八日午後一時三十九分平壤發同日午後七時三十分南大門著歸任の豫定なり

○井出主計監歸任

平壤部隊經理檢閲の爲め出張中なりし軍司令部經理部長井出主計監は二日午後七時十九分南大門驛著歸任の筈なり

○岡本大佐歸任

北鮮地方檢閲中なりし第十九師團參謀長岡本大佐は一日午後四時五十六分龍山著歸任せり

○菱田大佐入京

羅南砲兵第二十五聯隊長砲兵大佐菱田菊次郎氏は第二期檢閲の爲め入京中なり

○鈴木局長歸期

西北鮮地方視察中の鈴木土地調査局長尾石監査官の一行は二三日中に新義州へ出で六日若くば七日歸京の豫定なりと

○石井御用係元山行

入京中なりし石井宮內省御用掛は二日午前九時三十分南大門發元山へ向へり

○趙子爵消息

趙重應子一行は三十一日午後元山著愛婦部に投宿せるが一日は元山市街の視察を爲し二日夜新浦路長箭浦に到り直に金剛山溫井里のホテルに入る由

○井上副參事出張

鐵道局副參事井上致也氏は南滿洲鐵道線へ出張を命ぜられ一日午後九時四十分龍山發急行にて出發せり

○心事は公正也
○製絲重役は語る

朝鮮製絲會社が客月廿八日開會の定時株主總會席上に於て大紛擾を惹起したるは既報の如し而して同社の專務取締役社長中村十郎、取締役關繁太郎、藤富國太郎の三氏は會社重役側として該紛擾の內容を本社記者に語りたるが其大要を揭ぐれば今回定時總會に於て問題となれるは脫脂綿三萬ポンドの注文を露國より引受くるに當り何等株主に諮らざりしため疑惑を懷きたるものゝ如し併し脫脂綿の注文は一月以來のことにて商談成立せざる以前に於て多數の人に發表するは同業者の競爭を生じ且つは商機を逸するの懸念ありたるため便宜上

▲監査役の承認を求め遂に六月一日に至り東京に於て賣買契約を締結せるものなり、引受に就ては到底現在の會社の狀態にありては短期間に於て多量の脫脂綿を製造し得られざるため大阪なる中央製綿會社に製造を托することゝなり而して之に要する原料の供給或は製品引取の代金支拂等も亦會社より支出し得可くもあらざれば吾々個人の名義を以て三井物產、朝鮮銀行等より借入れたる金額約十一萬圓餘に達し居れり如斯金錢上の關係は勿論是がため京阪地方の往復に多大の日子と費用を費したるも一重に吾製絲會社の發達進步を圖らんとするに外ならざるに反りて吾々重役の私腹を肥さんとする等の批難を蒙むるは心外の至也此點に就ては總會の席上又は千代本に於ける委員會等に於て

▲遂一說明を爲したる所株主側も大體に於て諒解したるものゝ如く更に先月三十一日松葉亭に於て主なる株主二十四名集會協議の結果佐野、高木の三委員を擧げ吾々重役と交涉せしむることゝなり本月一日午後此人々と會見したる結果脫脂綿の引受は今後會社との關係を離れ重役個人の事業として繼續されたしとの希望を述べて別れたる程なれば目下の所株主側大部分の意見は之れに一致せるものと見て差支なかる可し素より南三日中に今一應總會前日の總會の繼續せるものと見做しを開きたる上に決するものなれど今日となりては從來の行掛上引くも引かれもせぬ狀態なれば何れに決するとも

▲誠心誠意 事業の成功を期せんとするものなり、又株金の拂込は昨年末五圓の拂込を要求し今又十圓の拂込を要求したるため株主の反對を喚びたるも從來の拂込金五萬數千圓の資金中約三萬圓は機械と土地家屋に固定し運轉資金としては僅かに二萬圓に過ぎず個人の一商店にも等しき小資本を以て會社に相當なる利益を擧げざるは理の當然なり要するに素より吾々の不德の致す所なれど早晩公明正大なる吾々の心事は一般に諒解さるゝに至る可きを信じて疑はず

○手工講習會終了

小學校普通學校內地人教員手工講習會は京畿道主催の下に高等普通學校內に開催中の處二日其の講習を了り午後三時終了式を擧行したり

平壤

▲松蛄蟖發生 平安南道に於ては既報の如く松蛄蟖發生して被害甚しきが殊に順川郡山林は六月一日頃より發生し其勢益猖獗を極むるより同地警察署に於ては各面長と協議し面民總出にて七月二十六日大々的に驅除を行ひたるが驅除山林廿四箇所反別八十八町五反步驅除人員二千百四十四名捕獲松蛄蟖百九十五石の多數に達したり

▲畜產組合設立 平安南道順川郡に於ては道長官の認可を得て順川產業組合を組織したるが其目的は畜牛の改良增殖を圖り組合員の共同利益を增進する爲めにて事業として種牛の配布種付優良牛の保護病牛治療疫病豫防等及び品評會を開催する筈なり

▲平南地方近況 平安南道江西郡新興面阿淸里は甑山分遣所を距る約三里の地點に在る漁村なるが土地に資產家なき爲め大資本を投じて漁業に從事するものなく只舊來の朝鮮式漁撈法により一箇年約千圓位の漁獲に過ぎず一般社會より好漁場たる事を無視閑却せらるゝの狀態なるが今回鎮南浦原田銀策氏は視察の結果海內屈指の好漁業地たるに著目し張網の出願中にて目下盛に準備中なりと

▲漁業近況 平安南道江西郡赤松面新里山崎治三郎の經營に係る張網漁業は其設備此程完了し七月二十六日第一回試驗的に實行したるに其成績頗る良好にして魚獲夥しく就中鯔（一貫目）以上のもの三百餘其他小鯔石首魚鰕蝦雜魚約五百餘の魚獲あり本張網は一箇月四回にして平均二千圓以上の利益を得る見込なりと

仁川

▲上野府書記轉任 仁川府廳內務係書記上野小一氏は今般京畿道書記に榮轉の辭令に接し近々赴任の筈なり

▲講習會證書授與式 去月二日より仁川公立普通學校內に開催せられたる私立學校教員講習會は八月二日終了同日午後三時より校講堂にて修業生二十九名に對し證書授與式を行ひ府尹よりは庶務主任書記府尹代理として臨席せ[illegible]

大田

▲不服申立數 大田郡內土地所有權及び其他に付臨時土地調査局長の査定に對し高等土地調査委員會に不服申立てをなしたるものは百八十[illegible]

▲秋蠶狀況 [illegible]二百枚にして內百八十枚は公州[illegible]

[illegible]數は本年三月以降既に五百五十[illegible]達し從來衞生思想の普及せられざりし地方までも普及せしを以て頗る好なりと

▲巨樹調査 大田郡に於ける巨樹調査は七月末終了せしが周圍二十七尺五寸乃至七尺なる欅木四十七本槐木二十八本の多きを數し[illegible]も云ふべきは異僧木、[illegible]なるものなり然して凡てに[illegible]居りて農業の豐凶に關するもの多し

▲修業兵歸田 步兵第七十[illegible]隊各中隊より三四名宛を選出し[illegible]餘名龍山にて機關銃操縱[illegible]りしが終了せしを以て八月一日[illegible]時二十五分の列車にて歸田せり[illegible]本部に於て是れが演習をなす筈[illegible]

鎮南浦

●河村檢事招待會 鎮南浦地方法院支廳檢事河村靜水氏は新藤檢事の後任として赴任し二日午後七時より南浦官民有志を朝日館に招待し新任披露の宴を催したり

▲軍艦千代田の入港 軍艦千代田は三十一日午後六時五十分鎮南浦に入港投錨したるが今一日及び二日の兩日は艦員半舷上陸を許し平南地方の見學をなさしめ三日午後一時拔錨旅順に向ひ出港す艦長小牧中佐は一日午後上陸南浦三和花園及び久原製錬所を視察し二日平壤に向ひ牡丹臺其他の戰跡を訪ね尙寺洞鑛業所を視察したり因に同艦は旅順寄港青島に向ふ由

▲官民千代田艦訪問 南浦官民の重なるものは一日午前十一時軍艦千代田を訪問し敬意を表し午後一時退艦したり

人事消息

▲須藤素氏（全南第一部長） 入京中の處二日[illegible]
▲海老原衛氏（千葉縣立中學校長） 入京中の處二日夜退京の筈
▲狩野豐太氏（同縣佐倉中學校長） 同上
▲芳賀貞氏（同縣成東中學校長） 同上
▲ダアリユー、ヘンヨッテ氏▲ヒー、アッキスマン氏夫妻▲セー、ヂー、ドソン氏▲ゲー、ナーセー氏（以上米人） 二日朝入京[illegible]ホテルへ
▲小田省吾氏（總督府事務官） 三日元山及び江原道[illegible]へ出張
▲中村新太郎氏（總督府技師） 出張中の處[illegible]歸任

□號外發行 二日午後李王世子殿下御婚儀の號外を發行して京城竝に仁川に配付したり

○墺帝危篤說

墺太利フランツ、ヨーセフ皇帝は又復病氣危篤なりとの說傳はるとの來報あり（東京電報）

洗劍亭……北門外……

◎學界の使命を帶びて

歐洲に向ふ五博士

芳賀文學博士は布哇に於ける日本兒童の爲めに敎科書編纂に從事す

學術研究の爲め歐米へ出張仰せ付けられた東京帝國大學の醫科大學敎授岡田醫學博士、同敎授田代醫學博士、文科大學敎授芳賀文學博士、工科大學敎授斯波工學博士、農科大學敎授稻垣農學博士の一行は去る三十一日午後零時三十五分東京驛發の列車にて出發午後三時横濱解纜の天洋丸に乘じて先づ米國桑港に向つた桑港著後は各自研究の都合に依りて思ひ〳〵の道順をとり、米、英、佛、伊の

▽諸國を歷訪 最後に露國に入つて西比利亞鐵道に據り來年四五月頃に歸朝の豫定なり一行中岡田醫學博士は令孃和子氏を同伴と云へば優に床しき髭の姿は天洋丸食堂の花と謳はる可、田代醫學博士はその專門整形外科の見地より今回の視察は殊に歐洲大戰亂に於ける傷病兵の治療法に重きを置くべしと歸朝後の土產話の興味深きを暗示しつゝあり又た斯波博士の專門は應用機關學、農林物理、氣象の兩面に亘れる稻垣博士の眼光等何れも歸朝の日の待たるゝ心地がするが

▽歐米の文學 研究を目的とし同時に外國に於ける日本文學の地位を調査せんとする文學博士芳賀矢一氏は途中布哇に寄港して同地に約一箇月を送りその間布哇に於ける日本小學兒童の爲め敎科書の編纂に從事すると云ふ、博士は『出發前の送別會攻めで行かぬ中からへト〳〵だが、ナアに外國へ一寸行つて來る位のこと、それ程期待される理由もないさ』と笑ひつゝ語るやう『歐米の文學研究の傍ら小學校國語敎科書の材料にも注意しろと云ふ命令だが

これは行つて見ぬことには

▽何んな結果 になるか諾が出來ない、布哇の日本兒童讀本編纂は餘程以前から依賴を受けて居ることで、色々材料なども送つて來てあるのだが實地に見聞した上でなくては彼の地に適切なものが出來ぬと思つて延び〳〵になつて居たのである幸今度船の都合がいゝので兼ねての囑託を實行しやうと云ふ譯なので

現在布哇の日本兒童が用ゐて居る修身、歷史、國語の三つの讀本を適度に配合してこの三つを打して一丸とし

▽國語讀本を 作らうと云ふのである、今使つて居る敎科書は內地の國定敎科書をそのまゝ持つて行つて居るのだ、がそれではどうも彼地で生れ彼地で育つて居る日本少年、父母の國を知らぬ可憐な兒童達にはどうも親しみ難い缺點を持つて居る、一體布哇の日本兒童は米國人の小學校に通つて普通學を修めて居るので、日本語の敎科書は別に敎授して居るのだが、兒童達お互ひの中では英語でペラ〳〵やつてるそうだ

▽こんな兒童 に大和魂を忘れさせぬ樣に——と云ふよりは日本人であることを自覺せしめて、未だ見ぬ父祖の國の國情や尊い歷史や興味深く印象せしめやう爲には、それに應しい讀本がなくてはならぬ、私は布哇に於ける日常の生活を出來得る限り詳細に研究して、私の力の及ぶ限り立派な讀本を作りたいと自分ながらの胸の躍るを覺ゆるのである（東京）

□伏見宮博義王殿下 垂水御滯在中川崎造船所御視察

兵庫縣垂水池永氏別邸に御靜養中なる伏見若宮博義王殿下には御經過御良好なるため來る八日一旦御歸京遊ばさるゝ事に御內定相成りたるが去月卅一日は午前七時十分御出門垂水海神社に御參拜の後八時十分垂水驛を發し同四十二分神戶驛御著川崎造船所差廻しの自動車にて先づ川崎造船所各工場を御縱覽あり成毛製造部長、高木商務課長等を從へさせられ同十一時同所を發して湊川神社に向はせられ此處にて湊野知事の奉迎を受け湊川神社同樣公式の御參拜あり社務所にて暫し御休憩の上十一時廿七分神戶發垂水に御歸邸遊ばされたり（大阪）

◎亭主は狂言師

▽鈍刀で女房に斬付く

二日午前三時頃京城紅把洞申永善(五九)が其妻洪姓女(五二)に斬りつけたる上自殺せんと自分にも數個所の負傷をなしたる事件あり洪姓女は夫が無職にて生活困難なるより僅か許りの手內職をなして生計し居れるも先妻の手なる龍尹は放蕩の末横領罪に依り本年五月出獄して歸宅何ほど改心の模樣なきより常に夫婦間に爭論絶えず一日夜も遲く迄喧嘩をなし其の果洪姓女が離緣を求めしが其儘にて就寢したるに午前三時頃永善は俄かに起き上り小刀を以て洪姓女の腹部左乳下に重傷を負はし引續き自分の腹部數箇所に斬りつけしも鈍き刃物のことゝて何のこともなく二男の爲めに小刀をもぎ取られたれば振へながら『妻は私を殺しかけました』と附近の交番に訴へ出でたれば鍾路署より係官出張檢證の上申永善を引致して目下取調中

京城の郊外（一）

洗劍亭の凉味

青葉注ぐ驟雨の音よりも繁げく鳴き立てる蟬の聲に取り圍かれながら北門を越すと身に沁み込む如うな凉しい

▽北漢山颪か 吹いて來て茲まで登つて來た苦熱は跡形もなく忘られて終ふ大院君の遺跡石坡山莊は右手の松林の間から見ゐて其の裾を巡つて流れて來る谿川が路の右になり左になりして立ち並ぶ雜木林の間の懸崖を流れ落ちて幾十となく小な

▽飛瀑が凉い 響を立てゝ居る、冷たい風と蟬の聲とは何處までも續いて行く樹の下蔭には弱々しい月草や山秋海棠などがチラ〳〵と咲いて何やら秋の野路でも步いて居る如うな心持ちになる

▽北門外から 下る七八丁一直線の谿間が盡きると其處に東から西へ流れて居る河原に出でる川の右手に沿うて二丁ばかり溯ると流れに突き出た巖の上に一亭が建たゝある これが洗劍亭である北漢山の

▽白雲臺から 滴り落ちた奇麗な流れが亭下の岩を洗つて雪の如うな飛沫を揚げて行く亭に登ると水と一緒に谿谷を流れ來る冷い風が

▽萬斛の凉味 を吹き送つて來る城を出て僅かばかりで斯んなに凉しい處が有るのだと感心した亭の前には鍊武臺と刻した奇なる二大巖が突立つて居る洗劍亭は仁祖の朝の建築であつて

▽結構數奇を 凝らした建物である王がまだ綾陽君と云つて居つた頃宣祖の第二子光海君が大妃を幽し潛王たりし時綾陽君一味の武人等此の

▽河畔に會し 劍を溪流に洗ひ一擧して北門を破り景福宮を衝き光海君を廢し綾陽君は王位に卽いた仁祖といふのは卽ち此の綾陽君である當夜の

▽壯擧を懷ひ 劍を磨したる巖上の紀念の一亭を建てた此が洗劍亭である今は荒廢するが儘に任せて居るが斯樣な

▽得難い史蹟 には少しく當局が修繕保護を加へたならば一般の者も愛護の觀念を起すであらうけれど餘りに頹廢するまゝに打棄てゝ置く故に情無しの朝鮮人が好い事にして床や庇を打毀して持ち去る樣子である

△洗劍亭の前 には小林寺といふ小寺がある此の處は凡て凉氣谿に充ちて苦熱を一洗するに好適の場所であるばかりでなく幽靜全く塵圜を脫したる處である洗劍亭より

▽更に溪流に 從つて溯るもよい又亭の下流水道口門のアーチを潛り水に從つて下れば所謂佛陀ケ谿に出て獨立門通りに出る在京の外國人の最も好んで遊ぶ處である

◎嬉し涙に咽ぶ

全快したモヒ中毒患者

京畿道警務部及び京城府廳の計畫に依り京城府內居住のモヒ中毒患者合計九十九名を順化院構內の一部に收容したることは既報の通りなるが其後治療を受けたる甲斐ありて輕症者なる蓬萊町韓締外四名は全快したるを以て去る一日歸還を許されたれば四名は心身の壯健になりて正業に就き得る樣になりたるを只管感泣し同人等の家族も門前まで迎ひに來りて以前とは見違へる程に達者になつた姿を見て驚喜し係員に謝辭を述べて歸宅したりと

◎亡者の名を藉る

慶南金海郡長有面居住金鍾九は既に死亡せる趙恒哲が存命中共謀して趙明相及び趙恒渠の印章を僞造し大正三年八月中趙明相が所有せる長有面新文里なる畓十八斗落の所有權保存證明書を作成したる上前記の僞造印章を捺印して金海郡廳に登記したるが越て大正四年三月中張壽命なる者は前記死亡趙恒哲の名を藉りて該土地を騙取せんと企て僞造印章を使用して五百四十圓にて趙明相より買ひ受けたる如く證書を作成して目

◎困つた嫁御

成北慶興郡雄基面雄基洞金能弘の娘金姓女(二九)は昨年七月頃同洞千承錄と私通したる結果姙娠し秘して本年四月末實家に立歸り五月三十日夜男兒を分娩したるも本夫と世間體とを恥ぢ實母韓姓女(四二)と共謀の上嬰兒を殺害したる上其の後夫の許に歸り居たる所右の事實暴露して母娘は此程其筋の手に檢擧されたり

◎弟の嫁を殺す

慶南山清郡今西面五峰里金鹿洙(三七)は同郡三壯面洪界里の吳姓女(一七)が實弟金龍伊の妻となりて去る五月中自宅に同棲する事となりたるより殘て生活困難なる處へ人數が增加したる事とて常に爭論絶えず七月三日も些細の事より鹿洙と吳姓女との間に爭の事を生じ吳姓女が便所に逃げ込みて隱れたるを鹿洙が追ひ掛けて發見し直ちに手拭にて絞殺したる爲め鹿洙は此程其筋の手に檢擧さる

◎舊惡顯はる

長崎縣南高來郡島原町生れ京城旭町一丁目鹽見某方居西村義昂(二一)は七月二十二日家人の隙を窺ひ同家の金指輪三個（一四十二圓）を窃取し同川之れを古市町某一質屋に入質せんとしたる所を居合はせたる本町署の刑事に怪まれて取調べの結果窃取品なること判明して直ちに引致せられたるが同人は以前郷里にて郡農會の書記を奉職中郡農會長某と共謀して農會の金員約一千圓を横領消費したる上朝鮮に高飛びして匿れゐたるものなりと

◎越すに越されぬ關所々々

商品を携へて派出所の前を通る得意先廻りの店員を呼び止めて嚴しいお調べ

京城市中で從來各種の小賣商店から得意先へ配布する米穀を初め總ての食料雜貨の中には桝切れや量目を減したものがあり、一般需要者を欺く不正の商人が偶にあつて困ると言ふ樣な噂が有つたそこで是れが試驗の爲め八月一日を以て京城府內の各警察署や憲兵隊では

▲一齊に實地調査を行つて見た各隊や署では巡査派出所、憲兵出張所に米穀及び液體用の桝各一個宛と別に秤一個とを備へて置き午後一時頃から交番所の前を通つて商品の配達に行く店員の携へてゐる物品を承諾の上交番所に持込んで片つ端から桝や秤に掛けて實際の量目を調査した何所の交番でも俄かに食料雜貨店になつて正服の警官が番頭さんよろしくで甲斐〳〵しく米から味噌迄悉く量つて見る店員が段々此關所へ集つて來る

▲商品が山の樣に積まれそれは〳〵大した賑はひであつた、本町警察署管內で行つたものが四百七件其の携帶人員が二百二十六人あつた、鍾路警察署の管內では物品六十九件で其の人員は二十八人、別に龍山分隊管內でも若干あつた、調查した品物としては各商店が實際に註文を受けて之れを各得意先に配布すべく持ち運びの途中であるから其の種類は千差萬別であつたが最も多かつたのは白米である、白米は袋や叺に入れてあるものを其儘量り直して見たのだが實際に當つて

▲某警官の語る所に依れば 思つたほどに桝切れはない却つて桝目の多いものもあつた、先づ平均して一斗の內二三合位の切れ方が割合に多く甚しいのは四合も切れたものもあつた桝目の多いのは店員自分が量つて入れたもので得意先の人氣を失はぬ爲めの仕事であつた、其他味噌、醬油、酒、牛乳、大小豆、麥粉、菓子、煎子、椎茸、砂糖、野菜類迄一つも殘さず調べた中に或る商所のものは悉く目切れがあり甚しきは砂糖

▲一斤の中に十匁以上も不足してゐるものもあつた、併し又反對に目方の多いものも少くなかつた要するに一般から見て量目は良好の方である、正確を使つて居るものと目の多いものとに對して規定以下に量目の不足なものは餘程少であつた、夫れと共に不正な桝や秤器を使用してゐるものも殆ど見當らなかつたといふことである

◎家一軒を盜む

釜山府富平町竹下隆平氏は釜山水晶洞三番戶に煉瓦式家屋一軒を所有し居り其れを崔善一と言ふ朝鮮人に賃貸しゐたるが去月廿五六日來の降雨の爲め倒壞の模樣あるより翌日其の旨所有者へ告げて其處を立退きたり然るに此程は所有者同所に至りたるに該家屋は跡方もなく消へ去り居るに打驚き種々と探索したる處或る朝鮮人が其の屋根に用ひありたる瓦を積み居るを發見し詰ねたるに道路修繕工夫と稱し印入の法被を纏ひたる內地人より購ひたりとの事にて全く家一軒を盜み何れへか持運びたる者と判明せり

◎拳銃强盜

平南遂安郡梧洞面梧峴洞李枝燮方へ去る五月十三日夜住所不定の崔成吉(三四)外二名の者强盜に押入り拳銃を擬し家人を脅迫し現金百三十七圓其他雜品數點を强奪して逃走したるが其後主謀者崔成吉は逮捕せられ海州地方法院にて懲役十年を申渡されたるに服せず平壤覆審法院に控訴したり

◎平壤讀者慰安會

平壤京城日報支局主催の京城日報愛讀者慰安會は七月三十一日夜櫻座に於て開催せるが觀客大入にて非常なる盛況を呈したり

◎感ずべき慈善家

忠淸南道公州郡寺谷面雲岩里居朴仁獸(三七)は獨力を以て目下四十餘名の孤兒窮貧者を收容救護し居れるが本月二十二日は偶〻賢母金氏の還曆に相當するを以て同里の居民及び自巳の土地所在地の里民に對し白米一升並に金十錢宛を施與賑恤し其の總額白米十九石二斗六升現金百六十一圓三十錢に及べり又麻谷寺へは白米一石五斗に金五圓を添へて寄贈し尙當日は附近の住民其の他約五百名を招待し酒飯餠菓子等の饗應を爲したり

◎厄介な女房 [illegible]

[illegible]

天氣 くもり 曇但少雨 [illegible]

京城本町 十番ウヰスキー（荷着） 龜屋 電話（二二四五）

爽凉滿誌に溢るゝ八月號 文藝倶樂部 定價金二十八錢 郵稅二錢五厘
小說 姉心 長田秀雄 ／ 花子のゆくへ 渡邊霞亭 ／ 筆の命毛 江見水蔭 ／ 紀文と奈良茂 ／ 女書畫屋（寫實小說）
■芝居見たまゝ國定忠次
■おこん貢（新講談）
東京 博文館

優等清酒 菊
釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九

內科 小兒科 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇

婦人之友 八月號 簡易休養號
休日の暮し方
正式の活躍
中流の住宅
身輕な避暑の支度
旅館に泊るには何んな注意
赤坊に湯をつかはせる手順
野菜物の買ひ方研究
懸賞募集 少女向きの凉しい髮形
長篇小說 朝の歌 佐藤紅綠
名著 孤島の悲劇
東京雜司ヶ谷 婦人之友社

內科 小兒科 醫學士 森定吉 芙蓉醫院 京城本町二丁目（瓦斯會社向側） 電話二六二

◉忠魂を弔ふ

青海波の曲

△旅順の白玉山に於て中尾都山氏の吹奏▽

□わが國に於ける尺八界の第一人者たる中尾都山氏は一日入京孜て昵懇の間柄なる千代本に投じた

□氏は先月の十八日大連上陸以來滿洲各地に於て其の妙技を試みし上今回始めて朝鮮を訪れたのである

□私は昨年の本月本日浦鹽に上陸して露國へ向ひました、彼地では、ペトログラード及びモスクワに於て各病院に傷病兵を慰問しましたが本野大使のお世話でいろ〳〵な優待を受けました

□私の尺八は露國の人には餘程珍らしく思はれたやうでしたがそれより私等の日本服の方が歡迎されましたやうでした

□歸りはモスクワから釜山まで汽車で押通しましたが當時共進會の開催中の京城も暫見して行きました

□今回旅順では同地の名物男久保田驛長の案内で白玉山納骨堂記念碑に參拜しました

□驛長さんはこれまで誰にでも旅順の戰跡を案内なさるので有名な方と聞きましたが記念碑前で私の眞心籠た手向けの一曲を吹奏しますとホロリ〳〵涙を溢して泣き出しました

□曲は私の自作に係る旅順の水雷夜襲を詠じた『青海波』の思ひ出深きものでしたが實は私自身もあの忠魂碑の前では一種緊張した感に打たれて一生懸命に吹奏致したのであります

□なに都山流のとですか?否、格別申し上ぐる程のこともございませぬが私が此の流を創めましてから最早や廿年の歲月を經ました

□殊に尺八のタイムや曲節を附けた都山流の樂譜を始めて作りましたので遠く歐米に居られる方でも自由に御勉強になることが能きます

□京城にはだいぶ私の門人がございますから六日の晩に有樂館で歡迎會を催ふして下さると聞きました

此の繪は書畫研究會海岡先生門下の[illegible]女史(京城[illegible]署長令閨)が[illegible]

◉

婦人の畫趣味

△書畫研究會▽

○嘗て 陛下に竹の屛風を獻上した朝鮮書家の金圭鎭氏は長谷川町の自宅に書畫研究會を開いてゐる

○お弟子中には內鮮の小供學生から紳士まで約八十餘名の人々があつて毎週水曜日と土曜日の兩日は熱心に稽古に勵むでゐる

○昨今總督府の官吏で海岡先生の書道を學むだ名人もあればまた妙齡の婦人で竹の繪に堪能な人もある

◉商專遠泳會擧行 仁川商業專修學校にては同校生徒に對し豫て猫島海岸に於て水泳教授中のところ今般豫定の通り終了、三日午後四時より同校生徒は稅關棧橋に集合同所より猫島海岸に至るまで約二十町の遠泳競爭を擧行すべく途中の危險を豫防する爲めに通船に教師乘込み警戒すべし尚同日水泳教師押方昭氏は潮の干滿如何により棧橋或は猫島海岸にて水上揮毫其他小堀流の型及び曲藝を試むべく學校組合議員其他へ招待狀を發せり

◉消防隊の水泳會 京城常備消防隊にては水防訓練の一資料として八月三日より八日間毎日午後一時より龍山元町四丁目下の漢江に於て水泳練習及び消防練習を開始すべしされ指導者としては常備消防隊中以前海軍に在りたる一等機關兵[illegible]尾小八、一等機關兵鈴木安藏、一等水兵金川九市の三消防手擔當すべしと尚ほ一般消防組員も希望者は臨時加入を許すべしと

水泳中注意すべき耳の病氣

△耳に水が這入らぬやうにせよ▽

◇夏の水泳には偶々耳の病氣にかゝる人が出來る、これに就き某校醫の曰く

◇水に飛び込んで耳の痛くなるのに三つある、その一は耳に耵聹が澤山充まつてゐる場合水中に這入るとそれが膨れて穴がつまり痛くなることゝ

◇それから其の二は水の這入つた耳の穴をいぢり廻すと耳の中にニキビのやうな腫物が出來る

◇次に其の三は水が耳の中に這入つて鼓膜を刺激しこれが爲めに鼓膜炎を起す

◇猶ほそれが中耳に移ると中耳炎となりいろ〳〵面倒な病氣となる

◇併かし耳の中に這入つた水は中耳加答兒位で癒へて了ふが水が鼻の奧から浸入きた方は多く化膿性中耳炎となりて耳漏となるものが多い

◇水泳中耳に水が這入つた場合には餘り耳の中をいぢり廻さずにソツとして置くに限る、ソツとして置けば自然に乾くから大した害にはならない

◇また水の這入つた側の首を傾げて片足で飛びあがるもよい

◇併し耳に水が這入つたところで必ずしも病氣になるといふことは無いからあまり心配せずとも宜しい、唯だ水泳の翌日になつても耳鳴りしたり痛みを感じたりする場合は早くお醫者に診て貰ひなさい

婦人界消息

◉私立賢修女學校 これまで府內南大門外にありし賢修女學校は今回黃金町一丁目の新築校舍に移轉したり同校は專ら家庭における實用向き技藝の教授を爲すも普通科は更に國語、修身、歷史、算術、習字を授け選科は刺繡、造花、生花、作法茶の湯等を教授する由

▲淺野ゆき子(女子高等普通學校教諭) 二三日前より[illegible]山の祭典に赴かれました

▲村田夫人(高等法院長夫人) [illegible]

神社とお寺と教會

△開教院(大和町) 吉村理事は教務の爲め一日夜內地へ向け出發

―△會いろ〳〵▽―

□實業講話會 京城酒商組合及び食料品卸商組合の主催に係る商店々員の精神修養講話會第四回例會は一日午後八時より京城商業會議所樓上に於て開催[illegible]京城高等法院長並びに柴崎京城中學校長の講演ありて盛會なりき

□割烹實習會 黃金町一丁目三井物產會社前なる新築の私立實踐裁縫女學校にては八月二日より相窪國太郎氏の割烹講習會あり

灯ともごろ

回すいきくず冷やし すいきの實を斷く賽の目に切りて白き上部のくずを[illegible]んの如きものにて細かくつぶして[illegible]ふるいにてふるひたる すい取りてよく冷やし皿にしる小皿にだし七、八分にまぶしつけ其まゝ二十分間程置きて今一度まぶしつけて煮たち居る湯に入れてゆで水に[illegible]分程少三分にて煮立ちたるをつぎ込みて卸しさびをそへてだす(青木はつ子)

番茶のあとこ

京義線の沙里院では過般內地人の人殺しのあつた中村旅館附近に毎夜幽靈が出るとの評判があつた△さる程に過ぐる七月廿六日の眞夜中頃同地某會社出張員の若夫婦が此の物凄い場所を通りかゝると果せるかな其處の栗畑からのそ〳〵と一人の幽靈が現れた△そこで妻君は吃驚して跣足のまゝに逃げ出すと幽靈の方でも一散に逃げ出す△茲に於てか旦那は大に元氣付き持合せの洋杖をもつて幽靈の頬を擲り付けると幽靈は散歩中の同僚であつたと

商況

東京株式特電

債券現物特電 (前日との比較)

公債直取引 (前日との比較)

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉粗布値上げ [illegible]

◉洋釘眼先安 低落 [illegible] 眼先一段の[illegible]

◉粟歩々賣行く [illegible]

◉車隊米と落札 [illegible]

錢 十一圓四、五十錢 [illegible]

◉綿糸更に高し [illegible]

◉肥料類は區々 [illegible]

◉生果類軟弱 [illegible] 約二倍以上 [illegible]

下關相場

增加して一段入荷 [illegible]

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場

生魚市場

仁川期米

▲二日前場 [illegible] 入電 一節四十一錢高の入電 更に十三錢

仁川米豆取引所仲買人 丸日 仲買店 支配人 土居勝 電話二八二番 二八三番

市場零聞

▲更に沸騰す 更に二十六錢と沸騰 七月限納會後の [illegible]

一押豫想 稍買進み來ん

▲前場の手振

▲人氣爆發す

一時的人氣の作用に外ならず依然として賣募た結果 七月限に關聯

此上一段の昂騰

▲受渡し著手

日本米五百俵 一百石を代用米として提供 日本米の代用は是を以て嚆矢とす

▲在庫米に就き [illegible]

丸田 [illegible]

仁川米豆取引所

二日の十月限

前場平均値段

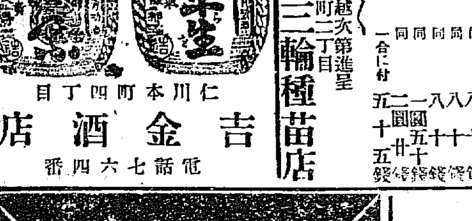
小賣白米

第二十期營業報告 貸借對照表(大正五年上半期) [illegible]

前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也
大正五年七月
株式會社 朝鮮商業銀行
取締役頭取 趙鎭泰
取締役 白完爀
取締役 金鎭[illegible]
取締役 洪忠鉉
支配人 豐田明敬
監査役 張斗鉉
監査役 崔思永

外務員 金德鉉
外務員 木原常三
右兩名者今般辭職解雇致候に付爾今當店に何等關係無之者に付此段廣告候也
八月二日 京城太平通二丁目 商業銀行朝鮮債券部

◎秋蒔種子新荷著 [illegible] 營業案內京城御申越次第進呈 三輪種苗店

醇良清酒

仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

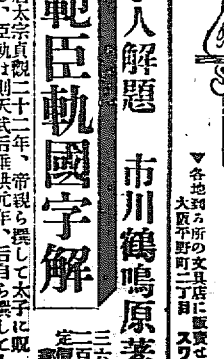
謹告
今回其筋ヨリ同業者一般ヘノ命令ニ從ヒ葬儀ハ御通知ニヨリ御伺ヒ申スコトニ相成リ日來ノ希望トモ相副ヒ候ニ付御用ノ節ハ電話又ハ便宜ノ方法ニヨリ直接御申付相成度親切丁寧ハ本社ノ主旨ニシテ報相如キハ他ニ比類ナキ特殊ノ利便有之候花ニ付御用命ノ程只管奉懇願候
永樂町 大葬社 電話一〇五六番

內科 小兒科 入院隨意 京城明治町(元善隣學校跡) 中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四八一・四五九番 振替京城五七番

蘇峰學人解題 市川鶴鳴原著
帝範臣軌國字解
抑も帝範は唐太宗貞觀二十二年、帝親ら撰して太子に賜へ、以て君たるの儀範を垂示し、臣軌は則天武后垂拱元年、后自ら撰して人臣の軌範を示したるものにして、倶に是れ盛唐帝后の親製する所に係り、而して此の國字解の特色は、其の解釋簡明精確にして、而も要領を得たるの明鏡と爲すもの、洵に所以ある也。[illegible]
京城府太平通り一丁目 合資會社 京城日報社代理部(振替京城三〇〇番)

中元の贈答品は スワン萬年ペンに限る

▼各地到る所の文具店に販賣せり 日本總代理店 大阪平野町二丁目 スワン大阪出張所

醇良清酒

仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 振替貯金口座京城三三一番 電話[illegible]
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

宮本武藏

第百十七回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

村雨源太が切込んで來る一刀、身を開いて空を討たせ、帯際へ手を懸ると大の男を宙に引立て一振り振つて投出だす、コロ／＼と轉がつて往つた源太、揚屋の緣臺へ頭を打付けるとウムーンといつて目を廻した、手數の懸つた野郎で、之れを見ると赤鬼の三吉目上の金太、鑿吹の茂助、若衆の五郎藏、前後左右から切つて懸るなれども天下の名人宮本武藏、蟷螂の斧を揮るつて龍車に向ふも同然、見る見る中に左右へバッタ／＼と投ります、中に武藏を知つて居る者もある ○「何所のお武家だか知らないが剛い人もあるものだな ○「剛いつたつてアレは元小笠原様の御家來で宮本武藏といふ方だ、目黒行人坂で佐々木岸柳といふ奴を切つて大した評判を取つた先生だ、何んでも其奴は僞物で眞實の岸柳は熊本に居るといふんで熊本へ乘込んで小倉と下の關の間巖島で岸柳と勝負して遂々退治ちまつたといふ事だ大した豪傑ぢやアねへか ○「フムーちやア宮本々々

出だす、三人も腕を揮るつて働らいたから流石の稻妻組も大に驚ろき、右往左往へ散亂して蜘蛛の子を散らすが如く忽ちの中に姿を隱くして了つた、宮本先生ニツコリ笑つて 武「各々御苦勞でござつた 三「先生什麼も世の中には亂暴な奴もあつたもので 武「アハヽ、花の廓で野暮な騷ぎをいたした、併し之れも災難、各々方に怪我がないのが何よりである」と懇しき働らきをしても別段顏色も變りません、天下の名人と言はれる人は違つたものこ三人も敬服をいたしました 武「什麼も衣類を泥だらけにした、何處かへ參つて手足の泥でも落さなければならんな 三「幸ひ向ふが尾清でございます、彼方とお出なすつてお足をお洗ひなさるやう、我々共も泥だらけで」と三人が尾清といふ揚屋の門へ來た、見物人は黒山のやう、何れも口々に賞讃して居なつて評判の先生は彼のお武家かい道理で剛いや」などヽワイ／＼言つて居ります、尾張屋清十郎といふ揚屋の亭主が見ると宮本先生だから、清「何方かと思ひましたら宮本先生で、之りやア皆様お揃ひでまア只今は飛んだ御災難でございました 武「災難も災難酷い目に遇つた、泥だらけになつたから湯でも水でも貰ひたい 清「ヘエ只今差上げます、コレ早くお湯を持つて來ないか、先生まア端近でございますから此方へお上んなすつて、ナニ泥になつたつて構やアいたしません、何をして居るんだ早く盥を持つて來い、盥ばかり持つて來たつて不可ない、湯を早く持つて來い」と清十郎一人で騷いで居る

其内湯を持つて來る、宮本を初め三人が泥を落として上へ上がる 清「まア此方へ」といふので奥へ通りました清十郎が家内に言付け代りの衣裳を出して著替へさせ、直ぐに酒肴を揃へまして四人を待遇した、茲に武藏も打寛ろいで亭主を對手に四方八方の話しをする 清「什麼も宮本先生御庇蔭様で稻妻組の奴等酷い目に遇ひまして彼んな快い心持はござりません、那奴等のためには吉原五十町泣かないものはございません位ゐ、悪い奴等でございます併し宮本先生に遇つては稻妻だらうが雷様だらうが叶ひつこはない、快い氣持で久し振りで溜飲が下がりました」といつて詫しをして居る、宮本も三人と盃を取交して各々揣嫌好く話笑らひ、三人互ひに腕自慢などして居ると、此尾張屋の奥座敷に來て居りましたのは京町一丁目三浦屋四郎左衞門方の抱へ、雲井といふ遊女、其頃名代の全盛、引手數多の其中から深く雲井に打込んで居るのは、神田倉河岸に道場を開いて直神陰流の劍術、及び合氣流柔術を指南いたす一樣如見齋といふ人物、門人の野村玄意といふ者が供をして毎夜の如く尾張屋へ來て雲井を招び、根氣よく口說いて居りますが什麼しても靡きません、併し客の事だから雲井も我慢して座敷だけ勤めて居ります、今宵も一樣から口が懸つて揚屋へ來て居りましたが如見齋はまだ來ない、スルと表座敷の方で宮本先生々々といふ聲がする、雲井は何思ひけん附添の新造を呼んで何か私語きました

パンは木村屋
木村屋パンの味のよいことゝうまいこと (京城明治町 電二八七)

內科小兒科 外科 產婦人科 京城本町三丁目
今村醫院
各科分擔 診察午前九時より午後九時まで 電話一八三一

●富士登山期と破天荒の計畫 クラブ齒磨本店の催し

奇想天來の廣告を以て一世を驚倒せしめつゝあるクラブ齒磨本店は昨今富士登山期に入るを共に來る八月一日より五日まで富士山頂に於て破天荒のクラブデーを開催し右五日間御殿場口吉田口及び大宮口よりの登山者五千名迄に各登山記念抽籤券を渡し頂上淺間神社前のクラブ本店臨時出張所に於て引換に金側懷中時計、銀側時計、目覺時計、帯地を始め多數の景品を進呈する由更に角日本にける初めての催しなれば登山者の大喝采を博する事なるべし

●生徒募集 東京神田錦町東京工科學校にては電工機械、土木、採礦、冶金の各科一二三期及電氣學科電氣化學科の新學期開始につき九月五日迄願書を受付る由因に小學卒業は一期、中學三年程度は二期、中學卒業程度は三期に編入の特典ありと云ふ

八月四日九星 舊七月六日 癸酉 木命 三碧 東 滿 宿 [illegible]

▲三碧● 勝のメちり事多き日 新事見合 坤の方は吉 旅行東▲四綠● 散よき日 轉居開業入學 名弘め 請求 取金 院 組入 組の和を計る等 萬事六▲五黃● 何事も慎みて 新事手控 [illegible]▲六白● 譯のわからぬ事有日 新事手控 吉 保證 [illegible]▲七赤● 爭論を生じ安き日 新事手控 [illegible]▲八白● 自重 [illegible] 事有日 新事手控 [illegible] 吉女子は心を爽にもたるべし▲九紫● 有望の日 轉居 旅行 入學 名弘 金談 造船 出漁 婚禮 醫藥 求職 等吉▲一白● 欣快の日 轉居 行商 入門 求職 金談 名弘 離縁 入籍 組油 井を掘る等も吉▲二黑● 不惡不善の日なれども 新事控目の方吉 普請 土工は妨なし

胃病にて御困りの方は十錢廿錢卅錢五十錢一圓を御用ひあれ 送料無料御注文は必ず前金を要す
本舖 京城黃金町三(振替京城參貳七番) 山田文殊堂藥房 電話二一九四九
山田胃散

祝仁川支局發展
和洋雜貨商 銃砲家具 仁川本町
藤木商店 電話四〇番

ルーデサック
特製一個參拾錢 形女用一個七拾錢 月經帶一個八拾錢 壹圓各種(送料要)
▲花柳病自宅療法 第進呈(市內込次)
東京 ドラッグ商會 京城永樂町二丁目交番北 滿鮮本部

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三
八月一日より提供の特別大寫眞 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○西洋寫眞 パテー週報第九十號 ○喜劇 通馬鹿大黑様
○滑稽 ピンブルと探偵
▲大阪毎日新聞連載小說 菊池幽芳氏傑作 ○新派大悲劇 乳姉妹 全四卷
▲伊太利ミラノ會社傑作 ○探偵大活劇 天誅 全四卷
[illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
東京落語三遊亭遊三一行
[illegible]

御成座 一町 電話一九一
革新派中村榮一行
一番目 喜劇無言の夫婦
二番目 王手 [illegible]
[illegible]

黃金館 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)
天然色活動寫眞株式會社 M [illegible]
七月二十七日より特別大寫眞
○軍事大活劇 愛の傳令 全三卷
[illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番
東京演劇協會東京歌舞伎女優中村絲八松本錦糸合同一座
八月二日初日藝題
一番目 茶太平記白石噺
二番目 一の谷 喜劇 醋病
三番目 [illegible]
[illegible]

正銀側時計殆ど半額
流質品は瑞西國會社特製正銀側細刻品廿箇年責任保證付實價五圓以上の品
[illegible] 18 19 形片硝子又は兩蓋 價六圓以上の品 (甲)七圓 該品は抵當品大安價販賣すとして
三圓五拾錢 四圓 五圓 最上の品 (乙)六圓
[illegible]
日野時計店

てんかん
ヒキツケ
種々のお困りの方な時で病
[illegible]
急性 胃病 治癒 教生館
[illegible]

健胃 大効丸
[illegible]

ほまれ味噌
茂木式特許醸造
日本醤油株式會社京城出張所 電話二四五番

大福麥
ジョキニカケテムシタムギ
エイセイジヨゼヒメシマセ
京城南大門外 池田製麥所
電話 七二 五四 九七番

ミツワ石鹼

新發賣 ◎ミツワ水石鹼 定價金五拾錢
技師 工學士 藤野太治郎

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に「フェノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ずべからず。

◎ミツワ石鹼は

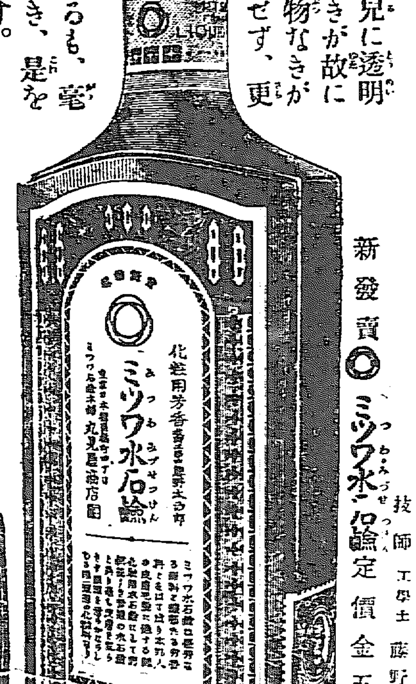
化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。

一、温雅の芳香を有す。

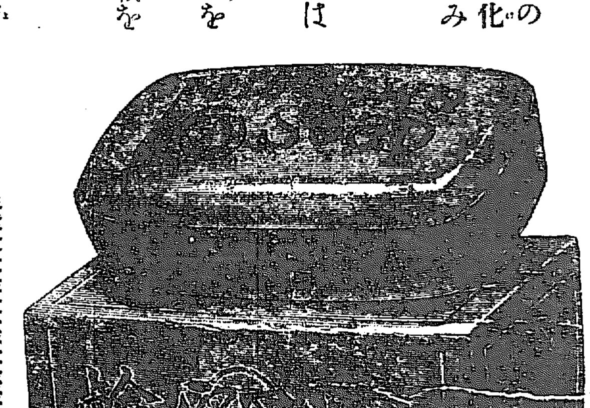
一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂なし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する理想的實用石鹼なり。



(現品寫眞圖)

種		類
大形	家庭用	定價金二十錢
中形	攜帶用	定價金十三錢
小形	旅行用	定價金十錢
極小形	旅館用	定價金五錢


(現品寫眞圖)

▲賣捌＝全國到る處の化粧品店。小間物店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ◎ 登錄商號
丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號◎ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

京城日報　第三版

歐洲戰局

京城日報

世間此夏季を以て、歐羅巴交戰者の大決戰を見るべきことを期待するや久しく、氣の早き輩は、此大決戰に次で講和の幕を開き來るべしと云ひ、講和條件までも算へ立てるさへ有りなれども、今日の形勢より推すときは、果して大決戰とまで進み行くべきや頗る覺束なし。熟ら四月以來の戰局を案ずるに、交戰者何れも大規模、大活動を企つるも、皆不徹底不得要領に終るの姿あり、獨逸がヴエルダンを攻撃するや、猛然一擧其要塞を拔くの意氣を示したれども、惡戰苦鬪四箇月を經て、猶は要外三四哩の地點に蹶躓し、徒らに犧牲を供するのみにて、其目的を遂ぐるの見込立たず、又墺洪軍突如として伊太利に進入し、一たび天下の耳目を聳動せしめたれども、露軍ガリシアより進みて、連戰連勝地を卷いて至るや、墺洪軍復た動く能はず、於是乎七月一日英佛軍の西部戰線に於て活躍を開始し、連りに敵の陣地を奪ふて進みたれども、今や既に其進歩遲々たり。尤も英佛軍此度の活躍は其準備極めて豐富にして、其士氣亦大に揚るを以て、更に猛進する所あるべきやも論なし、只今日英佛軍の進出區域は其延長約三十哩、與行三哩乃至三哩半に止りて、既に敵の第一線、第二線を奪ふも、未だ第三線を突破するに至らず、之を露軍の墺洪戰線を衝亂して、猛進したるに比するときは其功未だ半ばならずと謂ふを得べきなり。是れ吾人が英佛軍に向て、更に一段の努力を要求して已まざる所以なり。

吾人嘗て此度の戰役を概論して、戰爭の勝敗は、方面の戰鬪に依りて決せずして、兵員補充力、彈藥、軍需の供給力に依りて決すべきことを說きたり、敵味方共に其大規模を定め、大作動を起すや、必ずや相當の成算、豫め立てるものあるべし、然れども之等の成算は、一として齟齬を見ざるはなきなり、而して此齟齬を繰返す間に於て、其兵員を喪失すること夥多しく、今日の交戰者一として、其豫想の外に出でんとを惧れざるはなきなり、或は交戰者先づ軍費に窮むべしと爲すものあれども、獨逸の如き列國の爲めに閉鎖せらるゝもすら兎に角も其支辨に窮せざるに、戰時政府の強制力を用ひ得たるに是れ由る、不換紙幣の行使際限なきことに是れ由る、只人口のみは強制力を以て之を如何ともする能はず、戰爭を繼續すれば獨逸は日に月に縮り行くは、則ち一に兵員補充の困難なるが爲めにして、此點より云へば今日の交戰者中英國最も兵員補充力に富み、日を經るに從て多く能く補充する資あり、其砲彈軍需品の供給力亦英國に若くものなし、是れ最後の勝利は聯合軍にありと信ずるの根據なり。

米國と支那(一)
戰後の經濟的活動

▽漁夫の巨利　歐洲列國が噛合の大戰に兵力と財力とを消耗し居れるに際し中立國として悠々自適莫大なる漁夫の利を獲得せるもの、北米合衆國を以て其の尤となす。歐洲交戰國より殺到したる軍用品の大需要、自國農產物の大豐作及び其價格の騰貴てふ二大事實を基礎とし更に滔々として鋼鐵界の大繁昌、輸出貿易の大增進及び之に伴ふ正金の大流入、鐵道輸送の大繁昌等を喚起し米國は今や世界最大の成金國と化しつゝあり、實に米國は今日天下羨望の標的となりつゝあり

▽海外飛躍策　而して彼は此の戰亂の影響により得たる利益を以て一方には內國の經濟組織を一層改善し富力の充實を計ると同時に他方には巨資を擁して遠大なる海外發展を策しつゝあり、其の對內的計畫施設に關しては姑く之を措き、其の對外發展の計畫は實に目覺しきものあり、由來海外に對して經濟的發展を期せんとするには內國の產業を發達せしめ其資力を充實すべきは勿論對外通商上に最必要とする商品運輸機關及び金融機關の二者を完備せざる可らず、米國は今次の戰亂に乘じて攫得したる夥からざる利益を以て同國の海外發展就中南米及び支那の兩大陸に向つて經濟的發展に最も其力を竭さんとす、而して其企畫たるや主として金融機關の設備と通商航路の開通とにあり茲に米國の對支發展計畫及び支那の之に對する態度につき少しく記する處あるべし、米國が支那大陸に其經濟上の驥足を伸暢せんと欲するや久し、而かも從來は往々其所期に添ふ能はざるの結果を見たることなきにしもあらずと雖も、固より其初一念を挫折すべくもあらず、蓋し近時に至りて漸次其準備計畫の實現其緒に就かんとするものゝあるが如し、本年二月下旬上海駐在米國總領事サムソン氏が米國より歸任早々披瀝したるワシントン誕生日祝賀會席上にて演べたる一節に曰く『余は最近米國の產業中心地の訪問を試みたるが極東貿易に興味を有し近き將來に於て支那を視察せんとする幾多の人士を見たり、余は又多數の新企業の極東貿易を目標とするもののあるを發見したるが、其の或るものは計畫既に完成し、其或ものは正に計畫中に屬したり』云々と、是米國商工業界に近來の傾向を指摘して背綮を得たるものと謂はざる可らず、然るに一方支那側に於ても米國に賴りて自國の利益を發達せしめんと欲するの情切なるものあり、昨年十一月上海に催されたる支那全國商務聯合大會の決議は正に之を證する也

一、商務聯合會

昨年十一月二十四日より同三十日に亙る全支商議大會に於て各種議案の審査討議せられたるが就中最も注意に値するものゝ一は

▽米支商議聯合　米支商業會議所聯合會並に同附屬商品陳列場創設案にして、米支貿易關係の密接と相互當業者の接觸を計らんが爲めに機關としては一には米支商業會議所の聯合會を開きて感情の疏通を計り二には商品陳列所を設けし兩國の產品を一目の下に瞭然たらしめ以て直接貿易の發達を助成せんとするに在り、此案は附議表決の結果全體の贊成を得、米支兩國政府に之が具體的の立案を仰ぐべく而して會長は支那各省商業會議所大會之を兼ぬべき事等の議定を見たり

國境半期貿易

本年上半期に於る豆滿江流域對岸支那領及び露領との貿易額は輸出三十三萬四千六百三圓輸入十七萬四千百四十八圓計五十萬八千七百五十一圓にして之を前年同期に比するに輸出

京日詩壇

○次松田學鷗留別韻　高田小芥
臨行萬歲笑三呼。賤子入關未諳途。明山川依曲線。功移地勢入方圓。虎射破威骨。勅將名姓哲軒驅。頭深秘石。鯨領探珠顧樓白。
評曰　鍛錬陶冶。下字不苟。前聯殊極新奇。後聯亦險。語足破鬼膽。

○送松田學鷗之北韓　木田芳洲
相逢未暇叙相思。直送埠頭賦別離。悲喜交集情不盡。一聲汽笛又天涯。
鶯花時節著吟鞭。直指北韓將盡天。隨處蜂巢冰雪解。更添顏色送詩仙。
春風蕩漾送詩程。想見先生得意情。同好幾多文雅士。北韓到處喜相迎。
評曰　悲喜與語流露、後二首亦須換質。感謝萬勝。

○江亭話別　岡山牧雲
楊柳青青江水肥。小亭酌酒送君歸。潮來潮去三千里。明日錦帆北共飛。
評曰　煙波不盡

○漁村春夕　望月桂軒
山帶暮雲花影迷。海浮夜月浪聲棲。沙頭五五三三影。待盡歸帆笑語長。
評曰　意態寛閒

日報俳壇
雉子郎選

雜
紫陽花や月影寫す淚　青扇
寺を出て奈良はづれたる麻畑　同
偕行きしが見はつ隱りし麻畑　同
百日紅山の非業く怖はけり　同
夏草や墓地とも知らで踏む牛　雉子郎
月見草舟を仕立てゝ暮れに乘　橙黃子
日脚水に落つる迅さや月見草　同
傘借りて松の中行く月見草　同
蓬に沿ひて障子白さや月見草　同
月見草暴風雨のあとの白き浪　同
陽消えし雨氣吸ふ牡丹蕚む哉　同
階に這ひし牡丹の汚れけり　同
牡丹散るや羽搏く鳥を檻の中　同
青梅や風雨に朽つる塀を際　同
芍藥や縞目うなる野良著　同
花薔薇に弱々と打つ時計哉　同
アカシヤの花や車馬驅る　同
病み臥して髮艶ありぬ金蓮花　同
金蓮花事務も薺し應接間　同
夏蟲や輕き死を見るまのあたり　同
微雨知らぬ氣に悲人の夏夜哉　同
分家する低著語や芥子赤し　雉子郎

三日朝刊(夕刊と合せて八頁)

定價　一ヶ月金五拾錢…
廣告料　…
發行兼編輯人　…
印刷人　…
發行所　合資會社京城日報社
太平通一丁目
電話　…

大阪期米特電(二日)
…

▲後の手振
…

▲現物界
…
二日の十月限…

文章世界
八月清涼號
▽文壇現狀論…(秋江、無想庵、李太郎、勝衞)
▽山の生活…田山花袋
小說　開かぬ扉…上司小劍
小說　椿の丘へ…中谷德太郎
マスハノフ行…片上伸
旅の印象　一日一景
▲專門俳家の俳句…大須賀乙字
▲七月の文壇…中村孤月
▲まどろむ人…三木露風
▲フロオベル生涯…尾上柴舟
▲歌壇新進の群…中村星湖
▲海邊より…大野隆德
▲「闇の力」の印象…河竹繁俊
定價二十五錢　郵稅二錢
東京本町　博文館

實業之日本
□南洋經營　大眼目…新渡戶博士
南洋に志ある者必ず一讀せざるべからず
□有效の生活…浮田博士
□新同盟の警鐘…增田社長
□涼しい商店の窓飾法
三井三菱の月給取金高調べ
諸名士の夏冬論
經世家横斷の實業探檢記
涼しい海の上の快生活を紹介す
□煙化學工業の富
有望なる海外新發展地あり…內田嘉吉
奮闘克己の人
經歷…
□暑中傳染病の簡易手當法…樫田醫學士
有利玉葱栽培
八月一日號　定價十三錢　郵稅一錢五厘　半年一圓八十五錢　東京實業之日本社　振替三二六

婦女界
八月號　本日出來
日々の心得…棚橋絢子
夫婦は如何に協力すべき乎
牛乳を飲用する家庭への注意
夏の病氣の應急手當
小兒吐瀉病の豫防法
二日間で子供の病氣を爽つた經驗
子供を丈夫に育てる秘訣
家庭養鶏の手引草
主婦の讀物
家庭小說　憂き身…柳川春葉
東京牛込加賀町一　婦女界社

中央公論
內容の權威八月の炎暑を壓す
公娼私娼問題
南北妥協の支那…吉野作造
女をどうしたらよい乎…茅原華山
朝鮮統治の眞相…小松綠
國民意識と國家政策…大山郁夫
安達謙藏論
自畫像を描く…小川未明
四條河原…近松秋江
その一日…岩野泡鳴
時事評論
八月一日發行　定價金三十錢　東京本郷西片町十　中央公論社

新國史觀　努力の跡
黑板博士序　「學生」主任　西村醉夢先生著
定價四拾五錢　郵稅六錢

英文みだれ草
東京外國語學校教授　片山寛先生著
發行所　東京神田　富山房

日韓書房　新版報告
近代西洋文藝叢書　氷島の漁夫　附埃及行
鐵道院編　鐵道旅行案内
正田梅華著　謠曲辭典
安井滄溟著　軍人物史論
村上唯吉著　朝鮮人の衣食住
京城本町二丁目

現行法令輯覽
內閣記錄課編纂
大正五年版　豫約期限訂正(八月十日迄)

京城明治町二丁目　長崎屋商店
寫眞機　寫眞材料

新刊書御案內
大阪屋號書店

大橋屋商店

李王世子御慶事由來

李王世子殿下御慶事に就ては故伊藤博文公が最も遠大の思想と精神とを以て企畫されたるものにして寺内伯に對しても其事情を含められたる事實あり爾來それとなく皇族方より候補者の選定に就て配慮しつゝある折柄梨本宮守正王殿下第一姫宮方子女王殿下をとの説或る筋に起りたるより守正王妃從弟殿下の御里方鍋島侯爵家並に同侯爵家親戚たる博藤波言忠氏其の他關係の方々も内々其の議に與り大隈首相等も至極結構の儀なりと云ふ内話もありて昨年夏頃畏き邊よりも梨本宮守正王殿下に對され御沙汰を賜はりたるに宮家に於かせられても御承け申上げたる次第なり申迄もなけれど李王世子殿下には幾て御英明に渡らせられたる上純日本式の御教育を受けさせられ幼年學校御在學中以來の御成績も天晴に在し殊に軍人としての御修養ありたるだけ御體格も御健全に且つ御氣象も御活潑に在し明後年士官學校御卒業に付き最早御慶事の準備に取り懸らるゝも差支なき時機となれる折柄寺内伯の上京あり近日歸任の上表面李王殿下並に李太王殿下に謁見御慶事を言上する迄に進みたるものと拜察せらる要するに王世子殿下の御淑徳を配させ給ひなば日本帝室並に李王家は今後益々御親密の關係を生じ國家百年の福利を増進すべきや疑を容れず眞に慶賀に堪へざる次第なり而方子女王殿下は目下學習院女學部に御通學第三年生として御勉學中にて學課御優等に在せられ和歌は昨今御歌所寄人千葉胤明氏御指點申上げ居れりと申す（某宮内官吏東京特電）

廣東戰鬪益々熾烈

廣西軍觀音山に向はんとす

廣東來電に曰く戰爭は七月三十日午前一時廣東の西南方に於て開始され廣西軍は李烈鈞軍を援助せんが爲め觀音山の堅壘にある龍濟光を目的として濟河を渡らんとせり護國軍は白雲山の外部堡壘を奪取せるも内部堡壘は未だ支持せらる支那砲艦は護國軍に反對して陸上軍と協力しつゝあり廣東に運ばれたる負傷者の數より見れば死傷大なりしが如し戰鬪は三十一日も猶繼行され赤十字隊の概算に依れば死傷一千に達すべしと（上海特電）

嵯峨派遣と抗議

廣東に日本軍艦嵯峨を派遣せるに對し北京外交部は七月三十一日公式に廣東の狀況は漸次回復され龍濟光李烈鈞間に戰爭無きを以て日本は廣東に軍艦を派遣の必要なし外人の生命財産は支那政府は充分に保護の義務ありと抗議を申込み來れり右に對し小幡代理公使は形勢猶不穩なれば居留民保護の爲め軍艦を派遣する必要を認むる旨回答せり（東京特電）

日露協約内容質問

北京外交部は三十日日露兩國公使に對し日露協約の内容を質問し來れり右に對し兩國公使は本國の訓電を仰ぎ回答すべしと答へたり（北京特電）

吳負傷と士氣沮喪

豪匪の爲めに受けたる吳中將の負傷は却々に重く爲めに討伐軍の士氣甚だしく沮喪せるに反し豪匪軍は勢力益々加はり加之長春吉林に亘る鐵道沿線一帶の宗社黨の匪族等は此の機會を利用し一齊に事を擧げ以て鄭家屯の空虛を突かんと圖りたるを以て張督軍の狼狽一方ならず續々援軍を增派しつゝあるが事態急なるに於ては馮麟閣を總司令として出馬せしむべく軍事費として一百五萬圓を送附せり（奉天特電）

宗社黨計畫内容

蒙古軍の南下に[……]せんとしたるなり要するに右の計畫は[……]斷に歸したる[……]部落にて狩り立てたる無賴漢四五名[……]團匪の末裔にして同族數名と共に影[……]堂を私立學校として子弟を教育しつ[……]容易に落著せず遂[……]ら團地に出限惡敵する所あり表面の[……]

[……]河東郡守は自代を橫領し京城にて窃盗を働きたる[……]ため京城地方法院にて懲役五箇月の[……]花平里三百九十三番地[……]朴周興（[……]）は同日午前十一時頃仁旺宮町十[……]

獨軍の形勢を悲觀す

紐育ウオールドベルリン通信員カール、フオン、エイガンド氏は獨軍の形勢を悲觀して曰くソンム戰線に於ては何等聯合軍に動搖を來せる徴候なく之れが戰鬪は世界著名の諸戰鬪を一纏めにしたるもの如しと言ひ次で露都よりの戰報を記して曰くブルシロフ軍の戰線はプリペット河よりカルパシヤン山脈迄延長二百五十哩に亘りたるが其の戰線は今や七週前に比し更に西方に六十哩を延長せりブ將軍は獨軍の七十五萬の兵の行動を困難ならしめ其の四萬人を捕虜とせりサハロフ軍の進出は今や全然露軍戰線を一線に齎らしたるものにして同時にプロシロフ軍は次の大進擊に備ふべき地盤を得たるものなり（倫敦電報）

猛烈なる肉彈戰

ボアデエール附近に於ては目下肉彈戰最も猛烈を極めつゝあり形勢稍獨軍に可なり（香港電報）

獨軍擊退

西部戰場ヘム、モナス及ヴエルダン並にヴオーシヤブレルの各地に對する獨軍の逆襲は悉く擊退せられたり（香港電報）

御緣組に就て

未だ勅許ありしのみ

東京麻布鳥居坂御用邸に於て御勉學中なる李王世子垠殿下には目下士官學校御在學中にて最早御成年に達せられたる事とて御緣組の儀に就き内鮮貴族の熱心に斡旋し居たる我皇族との御婚儀も萬事滯なく進み愈々今回梨本宮守正王殿下第一王女方子殿下と御緣組の儀決定し此儀奏上中の處愈々一日寺内總督まで勅許傳達ありたるが之れに就き某朝鮮大官の語る處に依れば李王家と梨本宮家との御緣談は今より凡そ二年前に大略定り其の際、父王德壽宮李太王殿下を初め昌德宮李王殿下の御意嚮も至極御滿足にて同時に朝鮮貴族等にも一應意見を諮ひたるも何れも至極滿足の旨を御答へしたるを以て李王家方にては既に其の日を待ち設けたる事にてたゞ人情に關する事故御發表前一應聖上より御受けするや否やの御下問あるやも計られざるも未だ其等の運びまでには至り居らざるとの事なり

奉天省第二次借款成立

鮮銀より供給二百萬圓

豫て噂されたる奉天省對朝鮮銀行の第二次借款は一日夜成立し其の金額は二百萬圓なり右に付三島鮮銀理事は曰く奉天省第二次借款二百萬圓は七月上旬同省財政廳より我が鮮銀奉天支店に申込み來り爾來數次の接衝を試みつゝありしが一日夜に至り同省財政當局と小西支店長との間に商議成立せり

▲條件は第一次借款と殆んど同じく利子は年六分五厘手取金九十五圓擔保は酒稅及び契稅（土地賣買登錄稅）にして償還期限は二年後なり現金は朝鮮銀行券を以て交附し其の授受は一週日以内に之れをなす筈なり而して其の

▲使途は前回同樣奉天財界救濟にして其他の方面には流用を許さざる事となり居れりと。尚奉天の財界は六月成立せる百萬圓の借款にて稍々整理の實効を見しが更に今回の二百萬圓により紊亂せる同地金融の調節に相當成果を擧げ得べく最近内地新聞に鮮銀が奉省借款を中止し三井銀行之に代れりなど區々の報道をなせしものありしは誤報なりしと

精米輸出

朝鮮米を露國に

朝鮮精米五萬七千石を露國の軍用米として買入の申込を受けたる由は既報の如くにして朝鮮產業の發達上寔に近來の快事とする所なるが之れより先き三井物產、大倉組等によりて露國に輸出せられたる精米は品質と製法との粗惡なるため需用者の信用を失墜したるも之に代ゆるに優良なる精米を以てせば戰時食糧品の缺乏せる今日は勿論將來と雖も相當の取引あるべしとなし京城の精米業者天日常次郎氏も亦此點に著目し恰も朝鮮皮革會社の佐渡秀光氏が軍需品契約に關する打合のため露都に向ふの幸便ありしかば同氏に托し露國政府の内意を探究せし所

▲意外に有望なる消息を知り得たれば同氏の歸鮮と共に天日氏は著々輸出計畫の步を進め佐渡氏の紹介により直接露國政府と交涉を開始したり然に之と相前後して仁川商業會議所は臨時總會を開き朝鮮米の露國輸出に關し當局に於て何等かの適當なる方法を講ぜられんことを總督府に請願するなど期せずして朝鮮米の露國販路擴張は世上の問題となりし際仁川會議所の會頭堀田貞次郎氏は天日常次郎氏が個人として前記の計畫あることを耳にし遂に同氏との間に相談の結果個人の利害問題を離れたる朝鮮米の販路擴張の爲め大に盡力せんことを盟ひ稍て總督府、東拓、鮮銀等にも此計畫に對し相當援助を與へられんことを希望したるに何れも大に贊同の意を表し就中總督府にありては特に露國大使館等に對する紹介等の勞を取りたるため計畫愈々進み其ため天日氏は客月上旬東上し露國大使及び同國軍需購買官と會談し今後の取引契約成立に對し一層の努を添られんことを要求し遂に七月十八日を以て八九部通り商談進行し

▲最後の決定を本國政府宛電報にて交涉を依賴し天日氏は歸鮮したるが之と行違に二十三日に至り天日氏より直接本國政府と交涉中なりし鮮米買入契約申込決定の電報に接し玆に初めて鮮米輸出の大計畫は過半成功を見るに至り今回申込を受けたるものは既報の如く五萬七千石なれども從來交涉中なりしものは約十萬石の豫定なりしが露國農商務省と同大藏省との間に代金支拂の交涉長引きその爲め前記の如く不取敢五萬七千石を第一回分として申込を爲すに至りたるものなり之に付き堀田氏は同業者及び其他關係者の交涉に天日氏は露國政府との交涉に何れも部局を分ち當ることゝなり客月二十四日以來兩氏協力して盡力中なり」

▲堀田貞次郎氏の談を聞くに、精米輸出は第一回分として約五萬七千石の申込を受けたるは事實にして目下其方法に就て研究中なり最初天日氏が主として其交涉の局に當り居たる關係上今回契約締結に就ては無論同氏の露國行を煩はす可きものなれども同氏が今京城を離るゝは種々の不便ある可きを以て便宜上余の渡歐を餘儀なくされたれども夫とて未だ決定せず玆兩三日を經れば契約の場所及び現品納入の期限代金の支拂等全部の決定を見るに至る可し云々、尚ほ現品は元山より朝鮮汽船の便を借り浦鹽に揚陸し同地にて現品の資渡を行ふ順序となるべしと云ふ

咸北水稻狀況

咸北道管内水稻作況は本年播種期の幾分例年より遲延せしにも係らず氣候適順にして溫度亦平年より高きを以て生育頗る良好に且つ病害蟲の發生もなきを以て今後の天候にして順調ならんか豐作なるべき見込なり又た間島地方は本春解氷期の遲かりし爲め隨て農作物の播種期も遲れたるが其後の天候適順なりし爲め播種は概して適當に之を終り發芽狀況も良好に生育も亦佳良なるを以て一般に本秋の農作物は豐況なるべきを豫想せられ市況も幾分の活況を呈するに至れり

釜山牛舍不足

朝鮮牛移出は年一年と增加の盛況なると共に釜山港檢疫所にては每年牛舍を新築し目下十棟二十牛舍を有し居れ共尙狹隘なるに依り各同業組合人よりの要求を容れ其所有者たる朝鮮興業會社にては海岸埋築牛舍二棟增設方を本年四月其筋に請願し許可と共に直に埋立工事に著手したるが五月以向の降雨續きにて豫定の如く工事進捗せず到底本年の移出繁忙期たる九、十月迄には遺憾ながら竣工を見る事不能七月下旬既に牛舍は檢疫牛九百頭を收容せるも不足を告げ其他各問屋の持牛舍にも假收容をなし居れり

人事消息

▲中井國太郎氏（滿鐵奉天驛長）二日夜入京澄尾へ

▲ヘミツチ氏▲ビーソン氏▲アックスマン氏夫妻▲ナーアー氏▲ニューカエンヒュイス氏▲アアタン氏▲ボンテ氏（以上米人）二日夜入京朝鮮ホテルへ

鱗魚潑剌たり琴江の畔

慶南密陽郡の總督府養魚場

總督府水產技師　庵原文一氏談

慶尚南道密陽郡に於ける朝鮮總督府養魚場は嶺南樓を以て有名なる彼の密陽川の上流琴江河畔に位置し其池を長淵池と呼ぶ。同池は

■水面積約三町步に亘れる國有池にして四季湧泉を絕たず水脈池中の隨所に現はれ一分時の湧水總量六石乃至十石に達せるのみならず其水清冽透明にして夏冷かに冬溫く、鯉、鱒科の養魚場として實に絕好の個所たるを以て本府水產課にては之を直營となし現に鱒、鯉其他の養魚試驗を行ひ居れり。本養魚場は前述の如く單に試驗を目的とせるものなるを以て其規模未だ大ならずと雖も周圍三百七十四間の外部堤防内には大小十七個の池塘を設け其の小なるもの水面凡そ五十坪、大なるものは千餘坪に及び、現に亞米利加原產種の

■虹鱒約三千尾、獨逸原產鏡鯉約百尾近江產種日本鯉約七萬尾並に其親鯉雌雄二十二尾を飼養せり。此内、虹鱒は本年四月及び六月の二回に孵化せるものにして前者は目下凡そ一寸四五分、後者は六七分の大さに成長し、鏡鯉は當歲のもの三四寸、二歲のもの一尺内外に長じ日本鯉は本年五月に孵化せしもの四五寸より一寸四五分、大小混交して成長しつゝあり、之れ等の養魚は何れも氣候水質は勿論飼育方法亦好良なる爲め其の成績極めて佳良にして今後異常の災害あらざる限り優に試驗の目的を達し得可き望あり。由來本場は鮮内に於ける無數の湖池河川を利用して專ら淡水にのみ成育す可き前記虹鱒、並に亞米利加產河鱒、内地產姬鱒（カバチエッポ）等の兒魚を養成し之を適當なる淡水區域に放流して新に其の蕃殖を圖り、又た獨逸鯉（前記の外皮鯉を含む）及び日本鯉をも湖沼溜地に分配飼養せしめ、以て漁業者は勿論、農業其の他の雜業者をして大に利する處あらしむると共に從來魚類に疎き山間僻地に對して▲▲▲▲▲▲自由に供給の便を與へむとするものにして前記各種の養魚に就きては今後益々力を盡し、之れと同時に其の人工孵化、繁殖等に對して本場の餘力を用ゆる計畫なるを以て本漁場の價値は將來必ず刮目に値するものあるべし

南善北語

フランク、ヨセフ帝危篤の報が又た傳つた▲之れで何うだかも最ふ二三遍も傳つて來たが今度は何うだか▲帝は實に世界皇帝中での最高齡者であると共に最も悲慘な家庭を持つた人である▲而して同時に今回の歐洲戰亂の發起者であつて巧みに獨帝に抱き込まれた一人だ▲此頃露軍は既にカーパシアンを越へて匈牙利に侵入せんとして居ると云ひ▲波蘭では味方は散々の敗北又た命とも賴む獨逸の旗色が日々に惡く▲國内は戰爭で非常に疲勞した上に非戰論も出れば單獨媾和論も出る▲兎角にもろきは老の身の先だつ者は淚なりける次第なりで御同情申す▲併し戰爭中はマア長生きをさつしやい▲此頃巴里で素晴しい安時計を盛んに買出して居る▲何でも一ダースが一フラン五十サンチームだと云ふから日本で云へば一個が三十三錢某で鳥渡サイダー三本の代價▲其れが又た非常に流行して居るが驚くべし之れが的獨逸製である▲獨逸が疲勞困憊して製造業などは火の消えた樣だと云はれて居る矢先▲當の敵國の都の中に立派な販路を見出して居るなんて獨逸は何處迄も敏捷だ▲之れぢやから却々油斷もすきもあつたものぢやない

婦人畫報

八月號　定價金參拾錢　郵稅貳錢
東京京橋鍛冶橋　振替四千九百番　東京社

（報貴）（中の頁二十四）
◎潮風（原色版美人畫）椎塚蕉華筆
◎閑院宮二姬宮殿下
◎梨本宮兩殿下
◎九條公爵令孃の四
◎新任大使夫人　佐藤大使
◎伯爵小夫人
◎鍋島男爵
◎佛國大使館の茶話會
◎東北地方婚禮風俗
◎琵琶湖霞浦

（物讀）（白餘頁の中）
◎女子の體育……淨田博士
◎殊勝な臺灣の女學生……英
◎朝鮮に來て見た日本婦人……林大使
◎小兒の身體の鍛へ方……遠山博士
◎男爵婦人……濱谷小波
◎山と水（避暑地の印象）……男女四十名家
◎夏と婦人……大町桂月
◎暑中の食養生法……南博士
◎女のよた姿……阪口磐部
◎夏に罹り易い子供の病……豊福博士
◎長篇小說 夏文代……菊池幽芳

待ち焦れた休暇が來た休暇が來た

中學生　夏休號

學生の理想的消夏法……陸軍大將男爵
この夏を何處に遊ぶか
北米の瀨戸内海より
海岸動物と其の採集法……岸山博士
大雷の一萬一百尺……野尻抱影
海の色はナゼ青いか……京都府四中教諭　小笠原夕人
漫畫磐梯登り九死に一生……影男、佛三
涼しい寫眞ばかり十六頁

休暇の讀物「中學生」の夏休號

定價一冊十五錢

發行所　東京市麴町區富士見町　研究社　振替口座東京一六〇二番

メガネ新荷著廣告

米國製　正金張　純ニッケル　三種　一種
獨逸　西玉サック付
甲三圓五十錢　乙三圓　丙二圓五十錢　丁一圓二十錢
地方より御注文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候
送料實費但し前金御送り被下ば送費無料

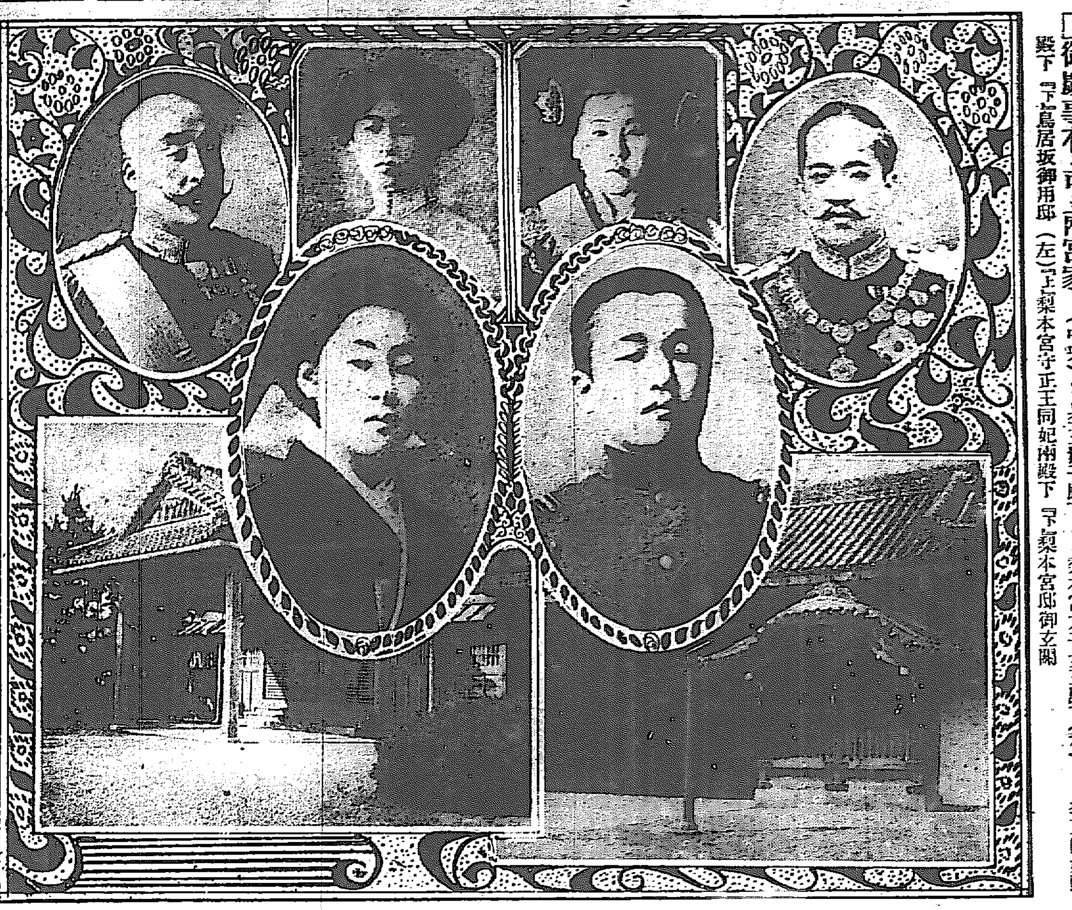
京城本町一丁目　中村時計店眼鏡部　電話一七一　振替口座京城三四六

…ことは既報の如くなるが彼等の計畫は巴布札布の蒙古軍と呼應し長春城内に殺倒し然る後鄭家屯を襲撃し之を占領し以て…

◎事務大臣任命　英國下院議員デューク氏は愛蘭事務…

◎無頼漢の銃殺　山東省萊蕪縣… 十里堡に於ける支那人の保衛團は谷… 王東亭(二十)谷里には高麗朝の重臣鄭圃… 隊の影響あり同地の鄭新永(六十)は鄭… ら之れを祭祀せんとして兩派の間に紛擾を醸し双方互に嫉視の間となり…

…村生れの鈴木丹作(四)が土地證明申請願の代書に從事し依頼者より印紙… 無職 妻 鍋根(三)は長女紙當を去月二十七日保證せず外出せしめ仁川…


□御慶事有る可き兩宮家　(中央)〔右〕李王世子殿下〔左〕梨本宮方子女王殿下(右)〔上〕李王同妃兩殿下〔下〕鳥居坂御用邸 (左)〔上〕梨本宮守正王同妃兩殿下〔下〕梨本宮邸御玄關

●日鮮の契、永久の固

李王世子、梨本宮女王兩殿下御婚儀
日鮮民族の同化上屈強の好模範

▲慶幸辭無し　伯爵 李完用氏談

故伊藤公太子大師たりし際太子少師たりし李完用伯は語つて曰く昨年三月頃一度某通信社より王世子殿下の御婚約の噂さありしが今日愈々勅許を經たりとの京城日報の號外を手にして自分は

◆實に欣喜雀躍　手の舞ひ足の踏む處を知らぬ位である此欣びに對して自分は最早沈默を守つては居れぬ、懷へば伊藤公が未だ在世の砌り自分は屢々伊藤公と共に世子の御婚儀の事に就て相談した事が有つた其の頃伊藤公の言はれるには歐米各國にては各皇室の間に於て御嫁娶の關係を結んで居る故に

◆國と國との間　にも離るべからざる親しみが出て居る東洋に於ても日韓兩國は先づ率先して兩皇族間で結婚する樣にしたいものであると語られ李王世子殿下から先づ是非實行したいと云つて居られしが不幸にして公はハルビンの露と消え李伯其の後を襲がるゝに至り伯も亦世子の御婚儀に就いては至極同意せられ一方ならぬ斡旋をせられたのである、前韓國時代に於てしても

◆此の御婚儀は　此の上なく芽出度い事であるが今日の如く併合して同じ國となつた後であるから同じ皇族の間の御結婚であるから當然のやうではあるが朝鮮に取つては却々言ふに云はれぬ悦ばしい事である、世子殿下御弱らが内地に於て學術其他の御成績秀で給ひ上 聖上初め諸皇族方よりも立派な王族として認められた事が今回の御婚儀の勅許と云ふ事に成つたのとは相違ないが此の間に在つて寺内總督の

◆多大なる斡旋　の勞は實に感謝に堪ぬ處である實に自分に取つてはこれ程悦ばしい事は無い自分はもうこれで死んで終つても少しの憾みも無い、世子殿下御婚儀の勅許に就ては李王家の御悦びばかりではなく朝鮮人一般の限りなき悦びであるどうか下々の者も之に倣ひ内鮮の貴族を初め一般の人達も盛んに通婚して同化の實を擧げたいものである

▲内鮮人結婚の範　男爵 韓昌洙氏談

男爵韓昌洙氏は號外を手にして欣ばしさうに語る、恁んな御慶事はモ又とはありますまい實は此事は故伊藤公の奏請で明治天皇の御在世の時即ち五年前に御内定になつて居つたやうに洩れ承はり其の節衷心から喜んだ次第であります、今度愈々御確定になつたことを承つては殆んど慶賀の辭がありません、李王李太王殿下が

◆嘸ぞ御喜びで　御坐りましやう、王世子は目下士官學校に御在學中で明後年には御卒業なさるとのことであるから何れ御卒業後に東京で嘉禮の式を擧げられるでしやう其時に李太王殿下にも東京に御出になることになれば此より喜ばしいことはないと思ひます王世子殿下の御婚儀に就ては何より樂しみにして居らるゝのでありますから或は

◆東京に御出に　なることゝなるやも知れぬ事と推察するのであります王世子殿下は軍人で在らせらるから他の王公と共に學校御卒業後は軍務に鞅掌せらるゝことゝなるでありませう始終東京に御住ひになることでありませう王世子殿下と梨本宮女王殿下との御慶事は内鮮人の結婚に範を示さるゝやうなもので内鮮人の結婚も漸次行はれることになり渾然内鮮人一家の理想が實現することも遠からぬことゝ衷心より嬉しい次第であります

▲異常の事に非す　小宮李王職次官談

李王世子垠殿下御婚儀勅許の報を携へて小宮李王職次官を訪ひ此の間の御消息を聽く次官曰く自分は未だ此の事に就て公然何事をも承はつて居らぬ現に先刻も李王殿下の御供をして德壽宮へ參つて居つたがそんな事は御噂さへも無かつた、併し乍ら此事が事實となつて現はるゝの日には實に李王家に取つて

◆又日鮮兩民族　に取て此上もない幸福な事である元來日鮮兩民族なると取別ては云ふものゝ其根源を繹ねて見れば全くの同族である現に武藏には高麗郡と云ふ一郡もある位であつて古來朝鮮人の血は甚だ多く日本人の間に混じて居る帝大教授太田文學博士の研究に依れば正史に記載して居るだけでも歸化して日本民族の中に交つて居る朝鮮人の子孫は何十萬と云ふ數に上つて居る

◆歴史に載つて　居るだけの數でも既に斯の如き大多數の朝鮮民族の血は吾々日本人の間に混じて居るそれのみならず我皇室としても仲哀天皇の皇后、神功皇后は朝鮮人の血統から出た御方であるから我皇室としても既に朝鮮民族の血を加へて居る事になつて居る故に王世子殿下と梨本姬宮殿下の御婚儀の如きも決して異常の事でも何んでもない古來兩民族の間には幾百千幾十萬と云ふ程の

◆婚儀が結ばれ　て居るのである、殊に同一帝國となつた今日我皇族と王家との間に御婚儀が取結ばるゝとすれば之れは日鮮同化の爲非常なる幸ひである、猶王世子殿下に於かせられては御幼時より内地に於て御教育を受けられ今では御人格なり御學問なり他に優れ給ひ殊に明治天皇御治世の頃より皇族方を御朋友として御交際遊ばされし事とて竹の園生の

◆氣高さを具へ　させ給ふが上に内地に於て御成長ありし事とて立派に大和魂を體得御涵養相成り姿を泰山の重きに置かれ其態度まで堂々たる武將の御資格を備へられて居る、兩宮家の御婚儀成らば内地に於ても與に殿下に對する崇敬の念を增し且つ下々まで上に倣ひ同化融合の意外に速かにして兩民族間の強き楔子を爲すに至るであらう

▲李王家の御滿足　李太王附 國分象太郎氏談

王世子殿下の御縁組に就きては舊韓國政府時代に於て既に日本より相應しき姫君をとの希望宮中府中に滿ち李完用伯、宋秉畯、趙重應兩子の如きは屢々故伊藤統監に對して其の

◆取計方を依囑　したる事あり、然れども當時王世子殿下は幼年學校に御在學御成効ありしを以て御決定の運までには至らざりしが此れに就きては王世子御身上の御爲より内外共に早晩實現の期ある可きを豫想し居たり然るに今回御縁組の具體的問題ありしは昨年一月の頃にして以來各方面の儀順調に捗り、遂に今回の御勅許ありたる次第にて日鮮永久の契を固めさせ給ふ女王殿下の梨本宮守正王殿下第一王女方子殿下に亘らせられたることも亦

◆當時より御内定　ありし處にて今御婚儀の許るや李王、李太王兩殿下は勿論王家御一同は年來の希望成れりとて極めて御滿足の意を表せられ只管御發表の期を俟ち詫び給へり。御成婚は恐らく王世子殿下士官學校御卒業の曉なる可きが、今回の御縁組により内鮮人の婚儀は今後益々增加す可く、此點に於ては申すも畏きことながら其の範を垂れさせ給へりとも目するを得可く内鮮人の結合上に與ふる効果の偉大なる思ひ半に過ぐるものある可し

〔右〕李王世子御父君李太王殿下〔左〕と御母君故嚴貴妃殿下

▲最適の御伉儷　中樞院 小松翰長談

未だ何等の公報を見ないのだから果して如何なる程度迄御手續の儀進捗せるか承知しないが此御儀愈々確定とすれば兩宮家の爲め最も慶賀すべき御事と思ふ。梨本宮並に妃殿下は先年歐洲よりの御歸途朝鮮御通過あり其節親しく

◆拜謁の榮を得　たのであるが宮殿下が御聰明の御方であらせらるゝと共に温厚なる御方であらせられ妃殿下は鍋島侯の姫君で侯が伊太利の首都羅馬に公使として駐剳中設けられたるとあつて伊都子と命名せられた位であるから御容貌も優れさせらるゝと共に御學問も御氣象も一入優れさせられ才色双絶の方で其姫君に渡らせらるゝ方子女王殿下も亦母宮殿下に劣らせられざる才色共に世に秀で給ふ方と承知して居る尚李王世子殿下は學習院御在學中も學力品行に於て

◆逆に等輩を拔　かせられたと云ふ事は世に聞こゑ其後軍人たるの思召により幼年學校、士官學校と著々規定の學課を了へさせられ今日にては品性、修養上より云ふも又天稟より云ふも天晴れ軍人たるべき資格を備へられた事であれば今回の御婚儀は最も適はしき御伉儷と申すべき事で梨本宮家及び李王御兩家に於かせられても嘸御滿足の御事と思はれる吾々は御婚儀御成立を祈り偏に御發展久しく兩宮家の御繁榮を祈るものである

●學生剩錢を騙る

京城崇一洞中央學林内居住の學生僧侶尹時定(二十)は同校友人なる僧侶李幸芸(二十)と共に七月二十七日夜貫鐵洞飲食店金基元方にて二十錢の飲食をなし其代金を支拂ふ際尹時定が内地の一圓紙幣を同家の雇女李召史に渡したるに基元は不在にて李召史は是れは初めて見る紙幣なるが何圓なりやと訊きたるより時定は内地の十圓紙幣なりと稱し其剩錢を請求したるも生憎四圓だけなかりしより右の四圓を領得して其儘逃走したるが李召史は怪しみて附近の者に尋ね合はしたる末騙取されたる事を知り李幸芸のみを取押へて其筋に訴へ出でたれば鍾路署にては兩名を引致して取調べの上檢事局へ送りたり

●冥土の道伴れ

全南高興郡浦項面南村里生れ田和叔(二)は同郡南面内白日里金東坤の妻韓三玉(三)を妾と爲し占岩面牛川里の海岸に假小屋を設けて飲食店を營業中本夫金東坤が之れを探知して韓三玉を連れ歸ることゝなりたるより和叔は嫉妬の餘り七月十七日夜三玉と共に飲酒中俄かに藁繩を以て同女を絞殺し次いで自身も縊死を遂げたり

●自殺女はヒステリー

京城舟橋町居住大工内田伊平内縁の妻熊本縣阿蘇郡古城村生れの山城かめ(三)は一日午後七時頃[illegible]ン十五瓦計りを服用し苦悶中を隣家の高木つるが發見し池上醫師を招きて應急の手當を加へしも遂に絶命せる事は既報の通りなるが同人は以前より肋膜炎に罹り居り強度のヒステリーを併發し一日も午前中より聊かの事より夫と爭論をなしたる結果覺悟の自殺に及びたるものにて枕元には大正三年四月中病死したる實子の位牌を据ゑ水と造花とを手向けありたりと

●焚火から出火

一日午前六時二十分頃京城黄金町三丁目居住北内印刷所職人金丁龍方より出火したり右は同家の破れ目より洩れたる焚火が木の賭紙に燃えつきて發火し大事に及ばんとしたるを早くも驅付けたる消防組員及び町内總代等協力して消火に盡力したれば室内を燒失したるのみにて大事に至らずして四十分頃鎮火したり

●錠前を切る

住所不定の某鎮秀(三)は七月三十日午前七時頃京城訓練院附近の支那人[illegible]の假小屋に人なきを見て錠前を捻ぢ切りて侵入し品物を窃取せんとする所に戸主歸宅して取押へ本町署に突出したり

◎嫌はれて說諭願

慶北清道郡内切つての美人と評判高き李元春の長女未朝(二)は内地語の巧みな金明元(三)と婚約成り遂に本年三月に鴛鴦の契りを結び金明元は戀女房を作れ早速新婚旅行を兼ね遥々慶南梁山郡の叔母の家に來り滯留中如何なる事か花嫁未朝に嫌はれしを悲しみ同地憲兵分遣所に女房の說諭願を申し出でたり(釜山)

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▽謎『暑中休暇と掛けて』

○辨慶五條に現はるゝと解く心は橋上(教場)に人影が無くなる(一等)　平壤曙町 岩尾箕山

▲間島の移民と解く心は歸化(踏苦)する者が多い　京城 霞川生

▲干支と解く心は二箇月で元に復る　京城 禾晩

▲消防夫と解く心は起臥(跳ね)して火事(家事)に働く　清州 松月

▲花嫁と解く心は里歸りが嬉しい　京城 南岸

	締切	發表
物は付『苦しいものは』	二日	四日
川柳題『眞似』	同三日	同五日
俗謡題『旅』	同四日	同六日
狂歌『煙草』	同五日	同七日
一口噺題『醫者』	同六日	同八日
掛ゐえ	同七日	同九日
次回謎『西瓜と掛けて』	同八日	同十日

愈々八月二日より
京城壽町 電話五七八番 壽座
東京演劇協會 東京歌舞伎女優
中村蕗香 澤村紀久八 松本錦糸
合同一座來る

◎夏物絣セル洋服 鐵道局拂下品 其外雨覆用携帶天幕 雨合羽冬絨洋服外套類 龍山元町二丁目 和洋服商 金子與市商店

濱 第一 鮮 京城南大門通 嶋屋本店

山田醫院 内科 小兒科 花柳病科 眼科 院長 山田萬作 尾形周太郎

京日案内

普通 番外

生後一ヶ月健全血統正しき男子愛深きお方に遣はし度し 中川紹介所 電話一五五八番 577

貸家 管理人 漢陽公園南裏三坂通 清涼頁に夏しらず 官吏向 舊龍山印刷局先 575

週給社員募集 商業に經驗あり確實なる保證人有る者 人數名 希望者は來談あれ 本町二丁目 シンガー會社 573

店員入用 十四五歲より十五六歲迄の者にて希望者は當店へ來談あれ 京城旭町市場海産物問屋 吉川商店 574

第二回 六ヶ月 十二日 支那語 夜學 十一日 京城長谷川町五八 銀行集會所前 同學社 571

松汀里光州間自働車は太田木浦間列車に聯絡す 光州自働車會社

理髮館讓る 龍山に有望な家賃二圓五十錢 地下盛業中 565

恩給年金立替 年金證書擔保として數日にて御融通 京城武德町二三番地 北方 國江商會 570

分拆 礦物各種 坂元分拆所 京城太平通二ノ二五 523

代診生募集 京城長谷川町 注連内齒科醫院 551

鑛山經營 重石買入 金石商會 京城鍾路二ノ九九 560

外勤社員採用 年齡三十歲以上 希望者は 大同生命出張所 562

氷 西崎商會 京城西小門町 電話七二七番 576

宇治茶直接販賣 御進物用 井上平 京都七條 大阪七二一番

百三十銀行 第卅六期營業報告

貸借對照表

資產	金額
諸貸出金	[illegible]
有價證券	[illegible]
預ケ金	[illegible]
他店へ貸(一二三ヶ所)	[illegible]
拂込未濟資本金	[illegible]
地所建物什器	[illegible]
質物流込	[illegible]
雜勘定	[illegible]
金銀	[illegible]
合計	[illegible]

負債	金額
諸預り金	[illegible]
支拂送金爲替手形	[illegible]
未拂利息及既收割引料	[illegible]
他店借(一六三ヶ所)	[illegible]
資本金	[illegible]
積立金	[illegible]
支拂未濟配當金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定

金貳拾壹萬參千五百四圓七拾壹錢七 當期純益金及前期繰越金

此配當左ノ如シ

金貳萬圓 積立金

金壹萬圓 役員賞與金及交際費

金拾五萬圓 配當金(年七分)

金參萬貳千八百六拾五圓七 後期繰越金

大正五年七月

株式會社百三十銀行

頭取 安田善三郎
副頭取 高橋長次
取締役 小川爲次郎
取締役 小西又秋
當務取締役 富田卯之助
取締役 森本兵助
取締役 右近清作
營業部長 森和衛
朝鮮代表者 河脇茂
監査役 内藤之助
監査役 河井三郎
監査役 渡邊村松七
監査役 田中彌...

監査役任期滿了ニ付改選ノ處總テ重任

監督 安田善次郎

女鳩

渡邊默禪

「六三」爐のほとり

『いゝわ、そんなことは御座いません。前の賊は私見ませんでしたから、どんな様子でしたか存じませんけれども、今度のは何でも乞食の者らしうございましたわ。賊らしい服装をいたして居りましたもの』嶋子は言下に否認してから、語を續けて『お父様、そら、あのお巡査さんが申して居つたぢやございませんか。此の地方では年末になるとよく

小鰹泥坊が流行りますつて、大方それなんでございませう。生活難の出來心。ね、大野さん、貴君、どう思つて?』

覗みられて大野は餘儀なげに頷いて見せた。子爵に釣込まれて

『左様であつてくれゝばよいが……大野君、爺は何處まで追跡したんぢやらう。打棄つても置かれまいがのう』

『僕、見て參りませう。お二人とも御疑なすつて下さい。寒いですから……花ちやんも心配し給ふな、直に父さんを連れて來るから』

勇は直に裏手の畑地へ驅出して去つた。三人は家に歸つて爐の焚火に煖りながら消息を待つてゐた。

三十分ばかり經つと、源作は表の方から歸つて來た。さうして賊が森の中に入つてから全く行方を見失つたこと、あらゆる場所を搬り立てたけれども見當らなかつたと話して、

『實は私、こいつ(此奴に)遲くなるのではなかつたけんどなア、山さ詣りをして天狗さまにお祠で申したところが、少し面倒くさいことになつて、その論判が長引いてならんだから、下つて來たのがハア猿頭時分だつたまなす。ほうすつと(左うすると)私より先に内さ入つて行つた太郎が、何をめつけたらんか、褒さ鋼つてワン〳〵吼ねるまたす。それが普通でねえ吼様だから、ハテ合點もない、何がけつかる(居る)だんべと思つて、行つて見たら、ホレ、うさんくせえ野郎が太郎に嚢られてすつたもんだしてゐるまたす。いきなり天秤で足を一つくらはせたちうもんだべす。野郎は喫驚して仰のけに引くり返つたが、先方も一生懸命よす。私と取組んでゐるうちに二度ばかり投げられたけんど、起き揚つてとう〳〵逃げたまたす。いや殘念でござりやんす、何しろ貴君、山で一かたけ握飯を食つたゞけだから、腹が空つて〳〵、目が暈いさうになつてゐた所だからなす、いつもならあたな(彼樣な)青二才を逃がすのではござりやへんけんど。アハヽヽ、ほだげど氣味がよかつたす。私には打撲られるし、太郎にや足を咬まれたし、餘程怪我をしたと見ゑて、跛をひき〳〵御うやうにして逃げて去つたづす。留守中にこたなことがなければいゝかと心配してゐたがとう〳〵……いや申譯もねゑ、飛んだことでござりやんした。殿様もお姫さまも眞平御免なすつてくだはんしよ。なアに、皮の一枚も盜まれねゑと思つて入つて來た時はあたりの樣でなしてござりやんすべ』

こんなことを言つて、二人に詫をしてから、お花に殘りの飯を出させて流石の如く五六碗を掻込むのであつた。二人には氣がつかなかつたけれども食事中にも何を考へてか、をり〳〵箸を止めて悲しげに瞬くのが、前に坐つて給仕をしてゐたお花によく分つた。

嶋子はその話が自分の父に言つたこと、多くの矛盾がないのに滿足して、父に餘計の心配をかけたくないと祈つたその眞心の徹底したことを悦んだ。父は二人の話を彼此參酌して、實際生活の檻に餘儀なくせられた窮の盜が、まだ逃げないうちに發見されたのであらうと思ひ込んだ樣子だつた。

『それは可哀想な、知つとれば救濟の道もあるんぢやがのう。おい、時に爺如何ぢやつたね、山の方は』

『はい、上首尾でござりやんす』

其處へ勇も空しく戻つて來た。彼は源作と出會はなかつたのである。

◎コツパ會七月例會

土用の丑の日も三日過ぎての三十日の朝涼しく本町の終點印刷前の衣りのなかに出車よりの人々が輕く動いたと想へ。夫れから三三町先の杜に包まれた丹壁のなかの中央をはじきあたり、大銀杏の樹影の下に白服ゆるやかに涼をんくる人ありと想へ。大成殿の壇上から古着三百千の昔を語る楾の幹を仰いで白服冷やかに想を馳らす人ありと想へ。蟬の落ち羽を青葡萄棚のわきから見出して空つゝむ銀杏の葉蔭に蟬の子を見事探し得て興がる人のビールの泡を書と聞くつゝ可笑し。さては鳥籠の一面見角黒町、拔と取り行くに蟬を薬でして熱きを呼ぶ子の遊に逢ひ避けてオンドロ冷やかなる虚靈度の夢の蟬時雨一盃漸く暑さみ眼ふもけに九十度を超へたりとは後より知らる。午下の満風徐ろに大樹を動かして涼味登かに仙境一入の眺めあり。即ち卓を圍むで句を還し惜しくも會を閉ぢたり(八月一日同人記)

新刊紹介

▲雄辯二千五百年史(竊田吉藏著)近時我國言論界は益々雄辯の價値を認め其の必要を感ぜり而して本書は「雄辯時代の雄辯」以下十八篇に戒はアリストートルの修辭學を論じ或は十字軍の雄辯を說き讀んで勝鬨西華命の雄辯に入り現代英國議會の雄辯に終る未だ雄辯研究者に取りてのみに非ざるべし(四六版三百四十頁八十錢東京市本鄕區駒込坂下町四八大日本雄辯會)

▲ゼ、スピリット、オブ、ジヤパン 印度の詩聖タゴール氏が過般慶應義塾大學に於て爲せる講演稿本にして氏が日本に寄したる

▲大日本新聞(三〇七) 五錢東京市麴町區有樂町一の四其社

▲大阪朝鮮貿易商報(四一二) 五錢大阪市西區北堀江裏通一の四其社

▲婦人週報(二ノ三二) 四錢五厘・東京市牛込區市ヶ谷田町二ノ一七其社

▲宗教(七月號) 五錢京都市烏丸通七條上る大谷本願寺寺務所內其社發行所

▲千代田(七月號) 十五錢東京市淺草區高原町二千代田吟社

▲圖書通信社月報(七) 非賣品東京芝區櫻川町七永井圖版

▲家庭と趣味(七月號) 二十錢東京市日本橋區本石町二ノ一家庭倶樂部

▲婦人畫報 夏向きになれば讀者の需き性にや一般の雜誌は何れも疲れ行き勝りつゝある文學も漸く又ぶけりも華る見る表紙なるが其記事は一般の雜誌には異つて讀者趣向の傾向おりさればこそ本紙に於ては婦人畫報の斷然優れたる所以也に八月號には椎條孫婦女子の綴一頁大に涼風たる美人畫の肌合に於て現佳な多彩目ある如く十五分及び鳥追の說其中第五の畫は是非人物の姿の讀みもの其もの山の如く一たび卷を開けば三伏の暑さも忘れしむる程なり(三十錢市内書籍店にあり東京市京橋區東京社)

▲料理之友(八月號) 夏季食慾減退の際に於て見るからに涼しげな食慾をそそる種々の料理献立の指導を詳載し更に滋養豊富な料理の家庭改良意見其他有益なる記事を以て滿載されたり(廿二錢府下上大崎中丸大日本料理研究會)

▲婦人之友(臨時號) 一本田別その他々女の休日の暮し方のさまざまな娯樂と休養の歌、其他多くの讀も少女向き記事の新しい研究した多くの實際的なる記事の外に、紙紙の特別附錄小説如し(一部三十錢東京市小石川區雜司ヶ谷)

山縣五十雄 村上唯吉共著

言の道しるべ

價十五錢 郵稅二錢

京城太平通新聞社 京城日報社代理部

▲鮮人の物貰ひの頭に蹴なる騷がしいのには閉口だ此の間も赤ん坊がすやすや寢てゐたものを驚かされて仰め〳〵泣き出した(拝親)▲幼兒を連れて車道を通行するのは甚だ危険だ自轉車、馬車、自動車、人力車などが擦れ違ひに走るのだから子連れの婦人や子傅などは餘程注意しなさいな三日前も南大門通りで子供が危い目に逢ふてゐました(老人)▲焼けつくやうに暑い此頃他人の迷惑になるのも構はず上り込んで長談義をやる來客は山蔵なり泣いたりして安眠妨害をやる若者がある反省すべしだ(傍迷惑者)▲京城の開業醫の中には不德な人が多い財産の少い家や日給暮しの所の患者であつたら全く來て吳れない實際居つても先生は外診中だとか他用中だとか看護婦などに言はせて姿を匿す之では決して人助けでないそれとも怪醫とは醫會の規則にあることか知ら(涙の母)

訂正 八月一日本紙第四面大阪ドラッグ商會家庭藥部廣告欄中寫眞圖の說明に「りん病黴菌」とあるは「ばい毒黴菌」の、「ばい毒黴菌」とあるは「りん病黴菌」の何れも誤にて付茲に訂正す

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛凸版 速成と可成親切を旨とし 京城日報社 寫眞製部版

大阪 京都 神戸

美粧倶樂部に於ける美粧料の選定

有効適切なるクラブ化粧品のみ合格 今後一切の化粧料はクラブのみ使用

(八月廿九日大阪朝日新聞所載)

夏は御婦人の一番美しい時でございます。清々しい若葉、青葉、明るい光線、不自然な防寒具をかなぐり捨てた輕い涼しい手輕な浴衣姿、見ての目も涼しく、氣分も目から晴やかになり、夫れがお顔へ反映して、如何にも

▲生々した艶彩が現はれて來ます上に、此の時季にはどうしても湯水に親しみ易く、殊に新鮮な血氣[illegible]に接する機會が多くなりますから、[illegible]皮膚の機能が活潑になつて參ります。其の代り、汗や、脂肪や、塵埃や、日光などの[illegible]になるのみならず、夏のお化粧には特別に注意しなければなりません[illegible]

▲清楚、純潔の趣を忘れないもので[illegible]化粧は何處迄も[illegible]

▲氣品の高い薄化粧でなくてはなりません。此の點は有名なクラブ白粉本店が多年盛んに主張し來り、是れまでの間違つた化粧法を矯正して眞の化粧美を發揮せしむべく、間で床しい薄化粧といふ事を熱心に唱道しました結果、貴婦人社會のお化粧の仕方が次第に一變して參りました事は既に皆樣御承知の通りでありますが、殊に夏季のお化粧は此の淸新な、氣品の高い、如何にも生來色艶の美しい樣に見ゆるクラブ式の薄化粧でないと、どうしても映らないのでございます。

▲最新式のお化粧法の最も善き結果を得らるゝ此のクラブ白粉を使つた方は、御承知の通り、石鹸よりも牛乳よりも遙かに優つた日本獨特の美身料として世界的に有名になつて居る彼のクラブ洗粉の本家本元だけに、クラブ白粉が一番宜しいのでございます。

▲研究に研究を重ねた結果、遂に此の日本に二つとない、クラブ白粉が創製されたのでございます。[illegible]

▲名流婦人の實驗に依て立派に證明されて居るのでございます。殊に此のクラブ白粉の一大特長として、[illegible]

▲大阪美粧倶樂部の經營者山本久榮女史の如きも、內外のあらゆる化粧品を一々嚴密に實驗された結果、日本の御婦人に對しては此のクラブ化粧品ほど有効適切なものはないといふ事を發見せられ、美粧倶樂部創立以來、白粉は申すまでもなく、香油、クリーム、化粧水、洗粉、其他一切の化粧品はクラブのみを使用する事とし、其後各地に設置された支部にも悉くクラブ化粧品のみを使用させて居られます。クラブ白粉を始めクラブ各種化粧品の品質が飛離れて優秀なことは、此の一事でも證明されて居りますが、更に其の芳しき名は九重の雲井の上まで達し、最も尊き御方の御料として、今や畏くも

▲皇后宮職御用品たるの光榮を忝うして居るのでございます。

クラブ白粉は前述の通り、附て高尚で非常に美しく、洗つた後の生地の色までも白くなるといふ一大特色を有し、他の白粉よ

▲日焼を防ぐにも[illegible]

▲お外出の際には是非心得て置かるべき事と存じます。殊にクラブ白粉やクラブ美身クリームの原料は、日焼の原因たる日光中の紫外線の作用を遮る力を有し、外に皮膚の滋養剤が適當に配合してありますから、單に日焼け止めとしても、夏季には片時も離すことが出來ないのみならず、お化粧料としては絶對的必要品なのでございます。

クラブ化粧品は、煉白粉の外更に左の如き各種の化粧品を網羅して居ます

クラブ洗粉 クラブ白粉 クラブ水白粉 クラブ紛白粉 クラブ打粉 クラブ煉白粉 クラブ美身クリーム クラブ美髪ポマード クラブキニーネ香水 クラブ乳液 クラブマッサージクリーム クラブ化粧水 クラブ香油 クラブ洗面香水 クラブ御爪化粧品

此等は何れも品質の優秀、需用の廣大、遙に他の化粧品を凌駕し、

▲日本名物として世界に其の名を遍かして居る事は、皆樣御承知の通りでございますから別に申上げませんが、要するに最新式の、淸楚な、純潔な、氣品の高い美粧には、どうしても此のクラブ化粧品を欠くことは出來ないといふ事を、茲に斷言して置きます。』

汽船釜山出帆廣告

○門司、大阪行 立神丸 八月日 後五時出帆
○門司、神戸、大阪行 立山丸 八月日 後十時出帆
○元山、清津、浦鹽行 小倉丸 八月日 後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小山丸 八月日 後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三(?)丸 八月日 後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三(?)平丸 八月日 後六時出帆
○任須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 大池回漕部

仁川出帆 共同汽船

○芝栄、大連行 第三共同丸 八月三日 午後入港 八月五日午前十時出
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一共同丸 八月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 八月 日前八時出

仁川代理店 阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

大邱浦項間自動車時間

大塚農場自動車部 大邱出張所

最上 鶴 醬油

京城府龍山元町 關西商會醸造所 電話三十九番 振替口座京城七三九番

花柳病専門薬

東京ドラッグ商會

類似品あり 花柳病には東京ドラッグの製劑に限る

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸 八月六日 正午出帆
高砂丸 八月十六日 正午出帆
三河丸 八月廿七日 正午出帆

仁川港町十丁目 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大君丸 八月十日 後四時出帆
神代丸 八月十五日 後四時出帆
吉秀丸 八月十七日 後四時出帆

仁川 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
須磨丸 八月十三日 後五時出
安東丸 八月八日
天草丸 八月四日
○濟州、門司、神戸、大阪行 濟州丸 八月十三日 後一時出帆
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 八月廿七日 後二時出帆
○鎭南浦、大連行 信濃川丸 八月廿二日 後二時出
○大連直行 日米丸 八月廿三日 正午出帆
○群山、釜山、横濱行 福州丸 八月十四日 後二時出
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 濟州丸 八月九日 後二時出帆
○清津、浦潮行(元山出帆) 安平丸 八月七日 後二時出
▲上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 八月十一日 後六時出

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

朝鮮郵船

全羅丸 京畿丸 黄海丸 咸鏡丸 鏡城丸 平安丸 昌平丸 忠淸丸 平壤丸 永興丸 盛德丸 江陵丸 三浦丸 海州丸 慶尚丸 順天丸 公州丸 慶興丸 宗信丸 江原丸 平壤丸 醴泉丸 錦江丸 南陽丸 毎日 八月 日